

# 第13回未成年者の携帯電話・ スマートフォン利用実態調査

2020年4月7日  
デジタルアーツ株式会社

調査名	第13回未成年者の携帯電話・スマートフォン利用実態調査
調査目的	急速に普及するスマートフォンの利用状況に鑑み、2011年より継続して何らかの携帯電話を持つ未成年のスマートフォンの所有割合や利用実態・フィルタリングの利用率等の調査を実施し、未成年のインターネット利用についての課題を提起してきた。13回目となる本調査では、上記内容に加えて、インターネット・SNS上におけるコミュニケーションの現状と未成年の心理、「自撮り被害」に対する危機意識などの他、未就学児から小学校低学年の子を持つ保護者における子どものインターネット利用に対する意識も聴取し、未成年が直面するネット上のリスクに対する課題を提起したい。
調査方法	インターネット調査
調査対象	■ 何らかの携帯電話を持つ全国の10～18歳の未成年の男女618名 ■ 3歳～18歳の子を持つ保護者1,030名 (計1,648名)
調査期間	2020年2月21日（金）～2月25日（火）
実施期間	株式会社マクロミル

第1回目	2011年11月 8日(金)~11月19日(土)
第2回目	2012年 6月22日(金)~ 6月23日(土)
第3回目	2012年11月 9日(金)~11月10日(土)
第4回目	2013年 8月 5日(月)~ 8月 6日(火)
第5回目	2014年 2月17日(月)~ 2月18日(火)
第6回目	2014年 6月20日(金)~ 6月24日(火)
第7回目	2015年 1月 7日(水)~ 1月14日(水)
第8回目	2015年 6月 3日(水)~ 6月 8日(月)
第9回目	2016年 1月 8日(金)~ 1月14日(木)
第10回目	2017年 1月10日(火)~ 1月16日 (月)
第11回目	2018年 1月31日(水)~ 2月4日 (日)
第12回目	2019年 4月1日 (月) ~4月2日 (火)

本調査では、何らかの携帯電話を持つ未成年（以下、未成年）のスマートフォンの所有割合や利用実態・フィルタリングの使用率等に加え、インターネット上におけるコミュニケーションの実態と、未成年の携帯電話・スマートフォン利用（以下、携帯・スマホ）に対する保護者の意識についてもヒアリングした。その結果以下のような傾向が見て取れた。

## 未成年者のスマートフォン所有率と利用時間（P6-12）

- 未成年者のスマートフォン所有率は92.2%で昨年から2.3%減少、利用時間も3.6時間で、昨年から0.1時間減少

## 使用頻度の高いアプリと裏アカウントの所有率（P13-19）

- 未成年の89.8%がSNSを利用
- 小学生の裏アカウント所有率が32.0%で昨年から5.5%増加

## ネット上のコミュニケーションとリスクに対する危機意識（P20-29）

- ネット上のみでコミュニケーションを取る友達（ネット友達）がいる未成年は40.1%で昨年から2.6%増加
- ネット友達と会った・または会いたいと希望する未成年は40.3%で昨年から9.7%減少、女子高校生は65.5%で昨年からうち6.9%減少
- 上記の理由として、未成年の60.7%が「ネット上で話すうちに信頼できると感じた」と回答
- 当事者になり得ると感じたネット上の事件が「特にない」とした未成年は42.1%とほぼ横ばい。「ネット上で知り合った人に誘拐等される」や「自画撮り被害※」に対する保護者の意識は微増傾向で、それぞれ10.8%（昨年から10.0%増加）/7.1%（昨年から4.2%増加）だが、割合としては低いまま

## 未成年の携帯・スマホ利用に対する保護者の意識 <小・中・高校生/未就学児>（P30-48）

- 携帯・スマホを持たせる目的を連絡手段とする保護者が69.5%と最も多く、子どものネット利用で不安な点は知らない人と繋がり事件等に巻き込まれる危険が最も多く、次いで使いすぎに起因する被害を心配する保護者が多い
- 使いすぎを防ぐ対策として、子どもの携帯・スマホの利用時間制限の必要性は感じているが、フィルタリング等具体的な対策を取っている保護者は24.1%で、SNS等の利用について子どもと月1回以上話す保護者は40.7%
- 子どもに専用端末を持たせている未就学児の保護者は44.7%、目的は連絡用が34.8%。そうした中で、89.8%が端末で子守をした経験があり、57.3%は子どもが想定外の使い方をしていた経験があった

※) 未成年者がだまされたり脅されたりして自分の裸体等を撮影し、メール等で送られ脅迫等を受けるという、昨今被害が深刻化している事案

## 未成年者によるネット友達とのコミュニケーションは依然として活発

自身のネットリテラシーを過信し、保護者は子どもの自主性を尊重  
裏アカウントの所有率は小学生が増加で低年齢化が進む

- 未成年者のスマートフォン所有率、利用時間ともにほぼ前年並み
- 但し、SNSを利用する未成年者は9割弱で、裏アカウント利用は低年齢化が進む
- ネット上のみでコミュニケーションを取る友達がいる未成年は増加  
ネット上での会話で相手を信頼しており、自身のネットリテラシーを過信する傾向
- 保護者の多くは見知らぬ人との繋がりや、使いすぎによる健康被害/学力低下を心配するも、具体的な対策を家庭で取れている保護者は全体の約3割程度で、子どもを信頼し、実質的に子どもの自由に使わせている保護者が少なくない
- 未就学児の保護者の半数近くは子どもに何らかの専用端末を持たせており、  
発達の助け・今後社会に出る際に役立つようになどポジティブな理由も少なくない  
但し、仕方なく端末で子守をしたり、その結果想定外の使い方を子どもがしていたといった悩みを抱く保護者も多い
- 未成年者のフィルタリング利用率は年々低下、不適切なWebページの閲覧制限だけでなく、SNSの使い方や利用時間制限についての対策が課題

- ① 携帯電話・スマートフォンの使用状況 (P7-13)
- ② SNSの利用実態と裏アカウントの所有率 (P14-20)
- ③ ネット上のコミュニケーションとリスクに対する危機意識 (P21-30)
- ④ 携帯電話・スマートフォン利用に対する保護者の意識  
(小学校高学年～高校生) (P31-39)
- ⑤ 携帯電話・スマートフォン利用に対する保護者の意識  
(未就学児～小学校低学年) (P40-49)
- ⑥ フィルタリングの利用率 (P50-54)

# ① 携帯電話・スマートフォンの使用状況

## トピックス

### 未成年者のスマートフォン所有率・利用時間の長さはほぼ横ばいで、 利用時間帯は少しずつ早まる傾向

#### ■スマートフォンの所有率

何らかの携帯電話を持つ未成年（10～18歳）のうちスマートフォン所有率は93.7%でほぼ横ばい。これらのうち、格安SIMの使用率は25.1%で、昨年から7.8%増加しており、格安SIMへの移行が年々進んでいることがわかった。

#### ■携帯電話・スマートフォンの利用時間、利用方法等

携帯電話・スマートフォンの平均利用時間は未成年全体で3.6時間で、昨年から0.1時間減少。

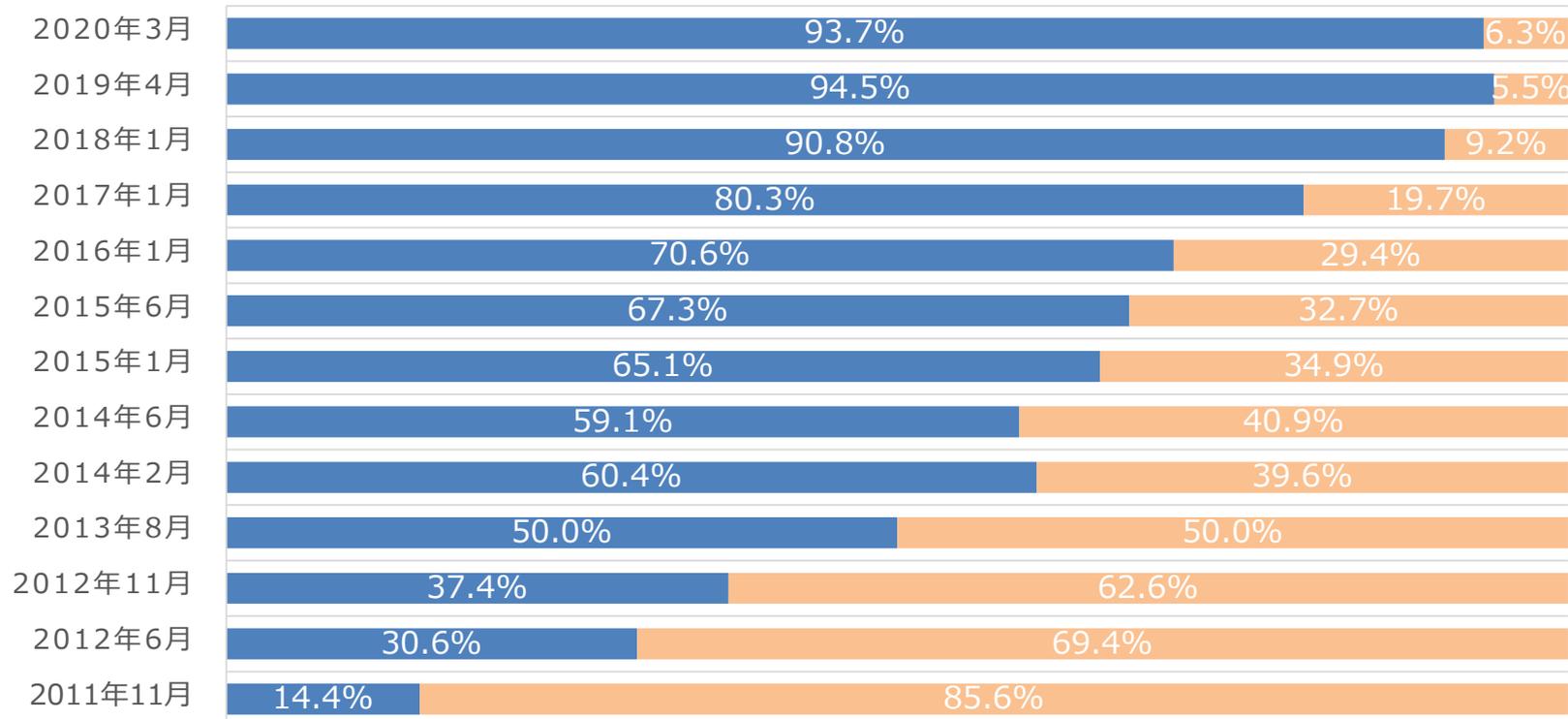
#### ■携帯電話・スマートフォンの利用時間帯

最も多く利用する時間帯は、未成年全体では「19時～21時台」で79.6%（昨年から4.2%増加）、次いで「16時～18時台」が多く55.8%（昨年から3.9%増加）。

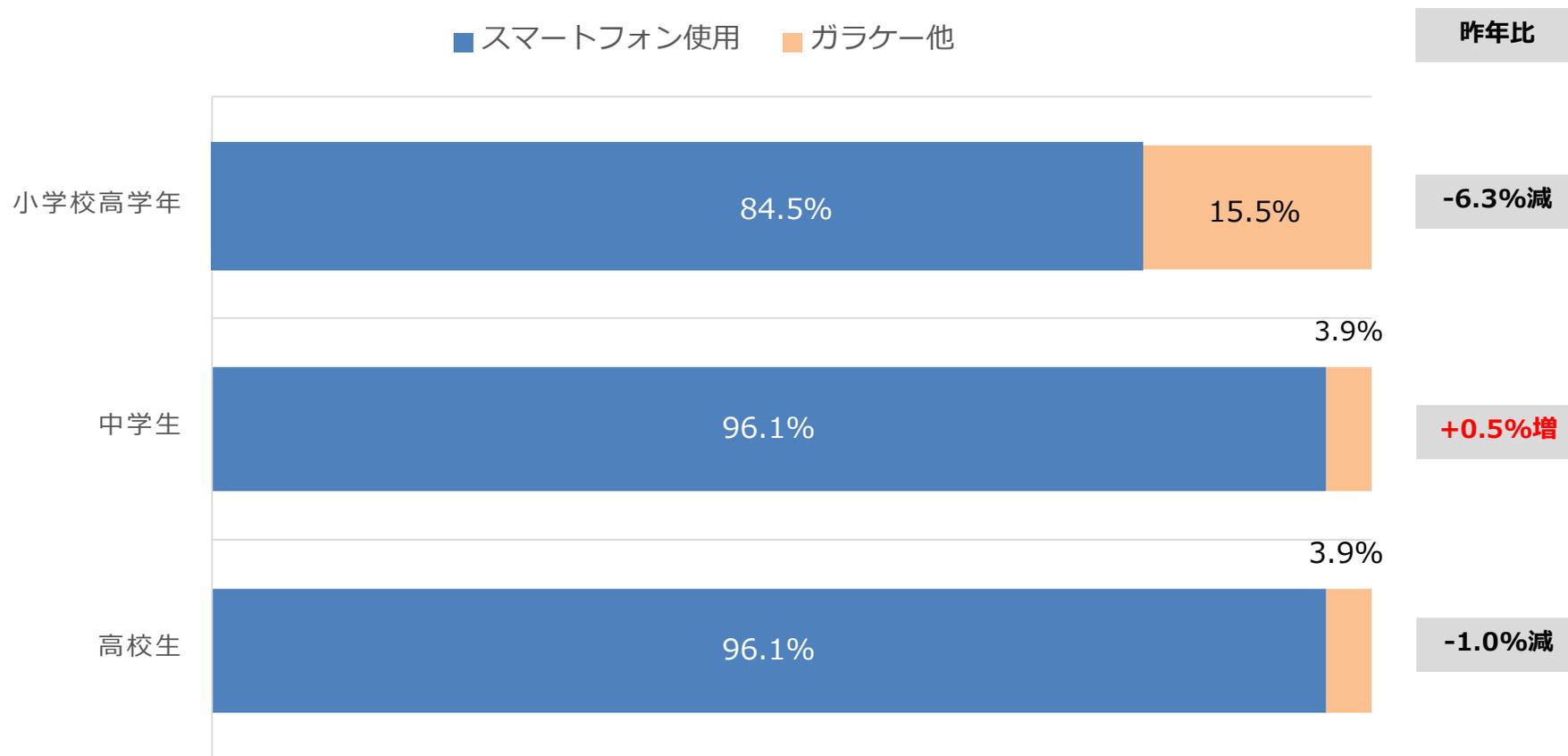
「22時～3時台」の遅い時間帯は昨年を境に減少しており、「16時～21時台」に移行している。

- 何らかの携帯電話を持つ未成年のスマートフォン所有率は93.7%でほぼ横ばい
- スマートフォン以外では、携帯電話（ガラケー）が3.2%、子ども向け携帯電話が3.1%
- スマートフォン所有者のうち格安SIMの所有率は23.5%（昨年から7.8%増加）  
格安SIMへの移行は年々進んでいる

■ スマートフォン使用   ■ ガラケー他

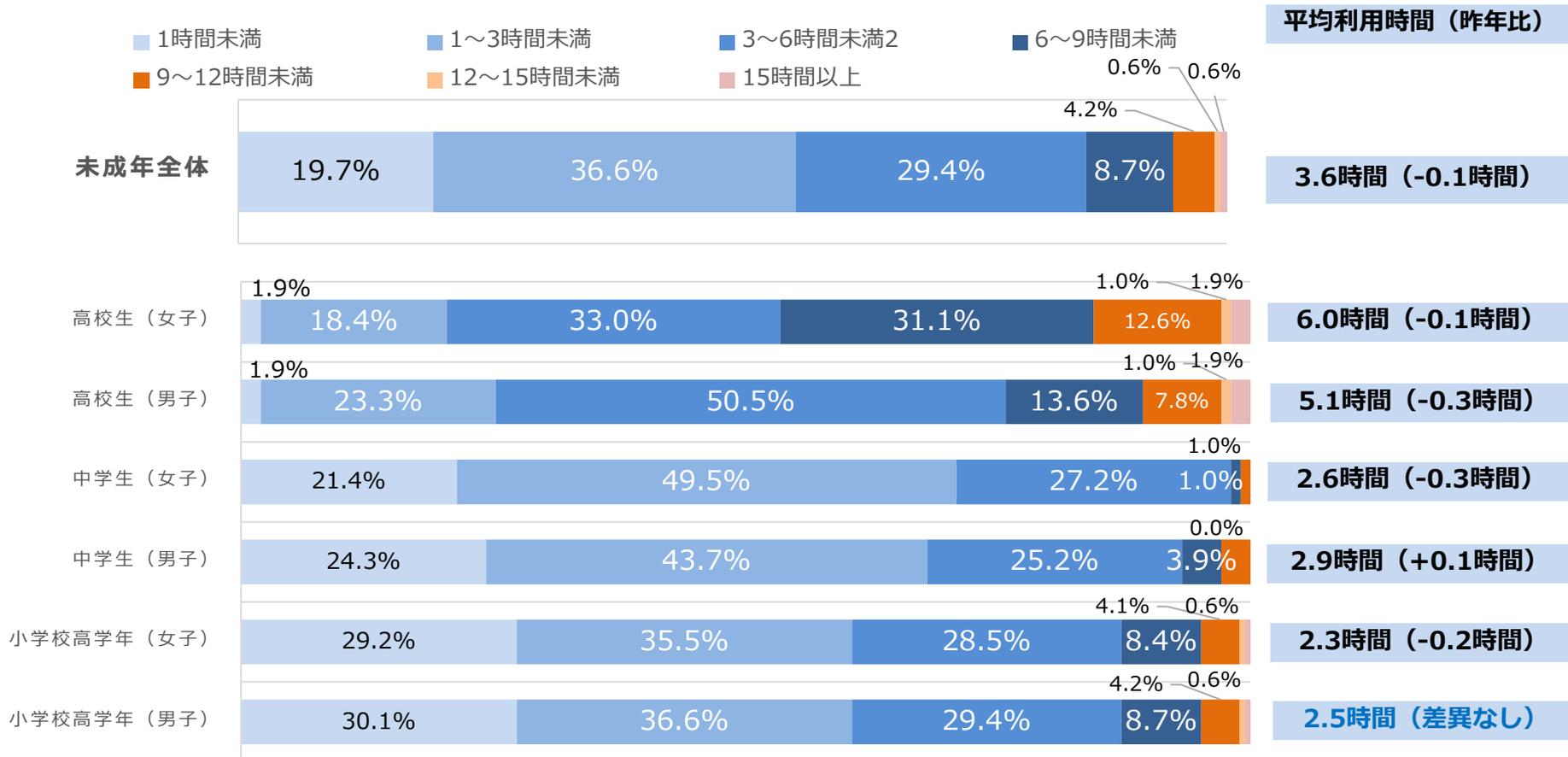


■小学生の所有率は84.5%、昨年からは多少落ち込んだものの一昨年からは10.2%伸びており、所有割合は高まってきている



## ■ 平均利用時間は未成年全体で3.6時間でほぼ横ばい

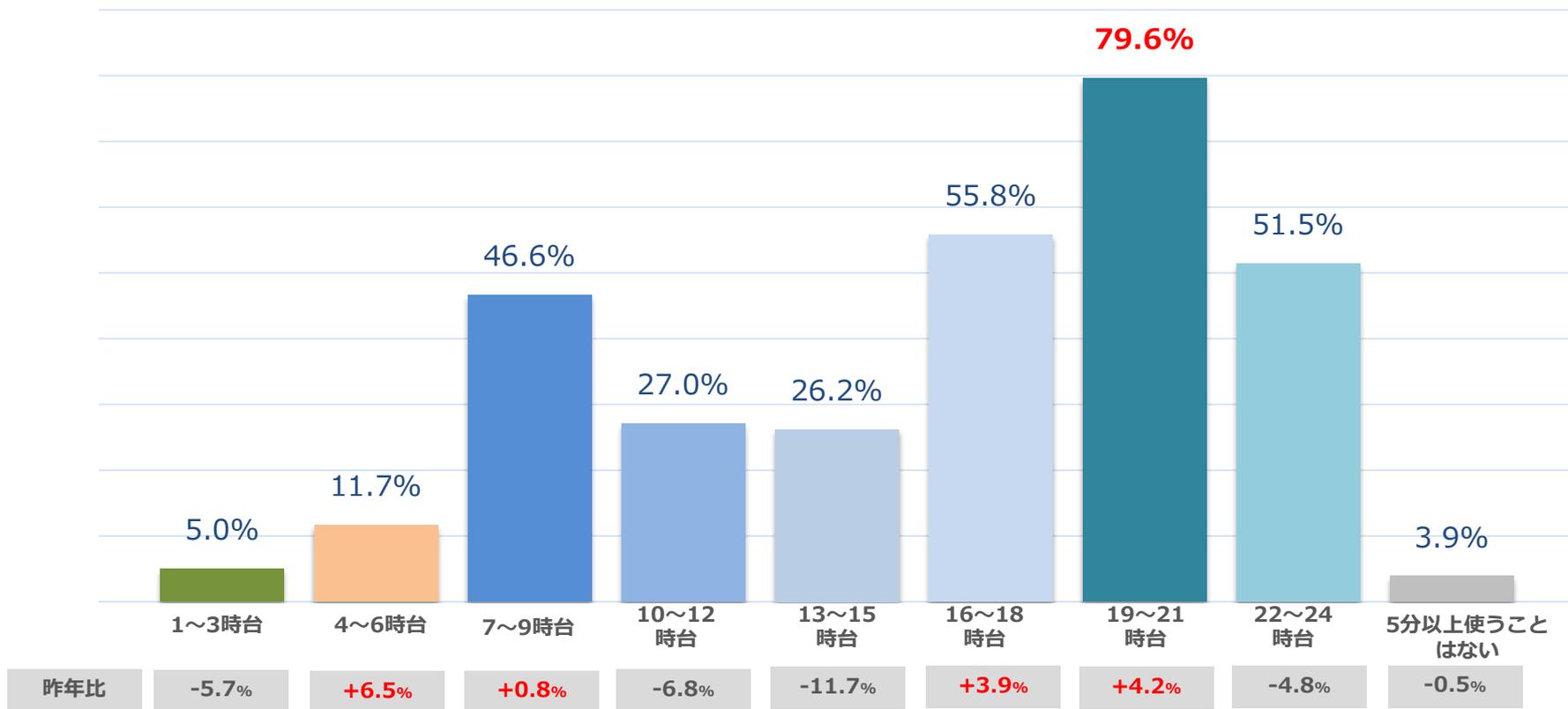
Q あなたは、スマートフォン/携帯電話を1日に何時間くらい使っていますか。普段の平均的な使用時間をお答えください。



- 未成年全体では「19時～21時台」が最も多く、次いで「16時～18時台」
- 「22時～24時台」、「1時～3時台」の遅い時間帯は昨年を境に減少している

Q あなたは、スマートフォン/携帯電話をどの時間帯に使っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

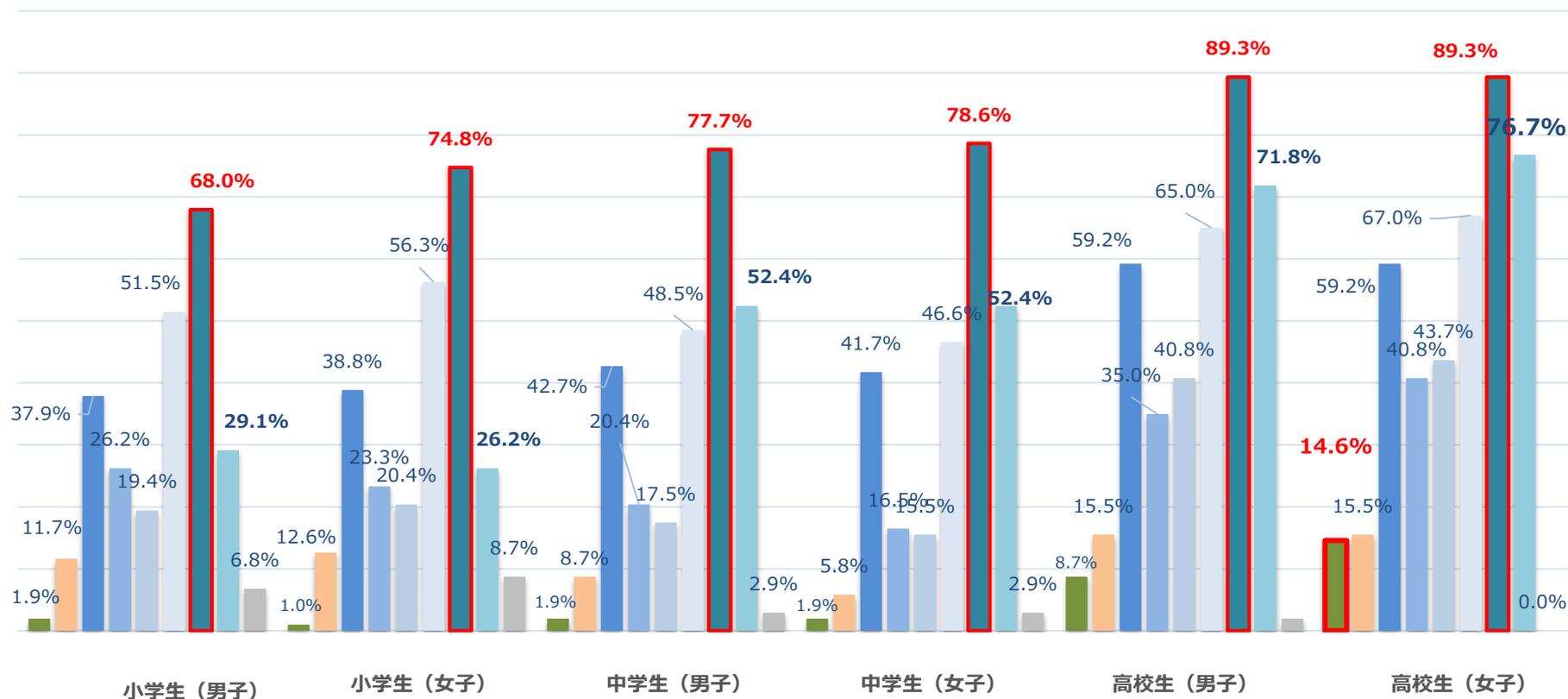
※合計して5分以上使っている時間帯をすべてお選びください



Q あなたは、スマートフォン/携帯電話をどの時間帯に使っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

※合計して5分以上使っている時間帯をすべてお選びください

■ 1時～3時台 ■ 4時～6時台 ■ 7時～9時台 ■ 10時～12時台 ■ 13時～15時台 ■ 16時～18時台 ■ 19時～21時台 ■ 22時～24時台 ■ 5分以上使うことはない



## ② SNSの利用実態と 裏アカウントの所有率

## トピックス

### 未成年者の約9割がSNSを利用しており、裏アカウント利用は低年齢化

#### ■ 使用頻度の高いアプリ

未成年の使用頻度が高いアプリの上位4位は昨年と同様であった。

#### ■ SNS の利用実態

SNS等の利用率は未成年全体で89.8%であった。

その内容は「趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報」が最も多く、58.9%（昨年から10.9%増加）や「プライベートでの出来事、感じたこと」

46.9%（昨年から9.2%減少）など、昨年と同様自分の好きなことや日常の出来事などを気軽に閲覧・投稿する傾向。

#### ■ 裏アカウントの所有率

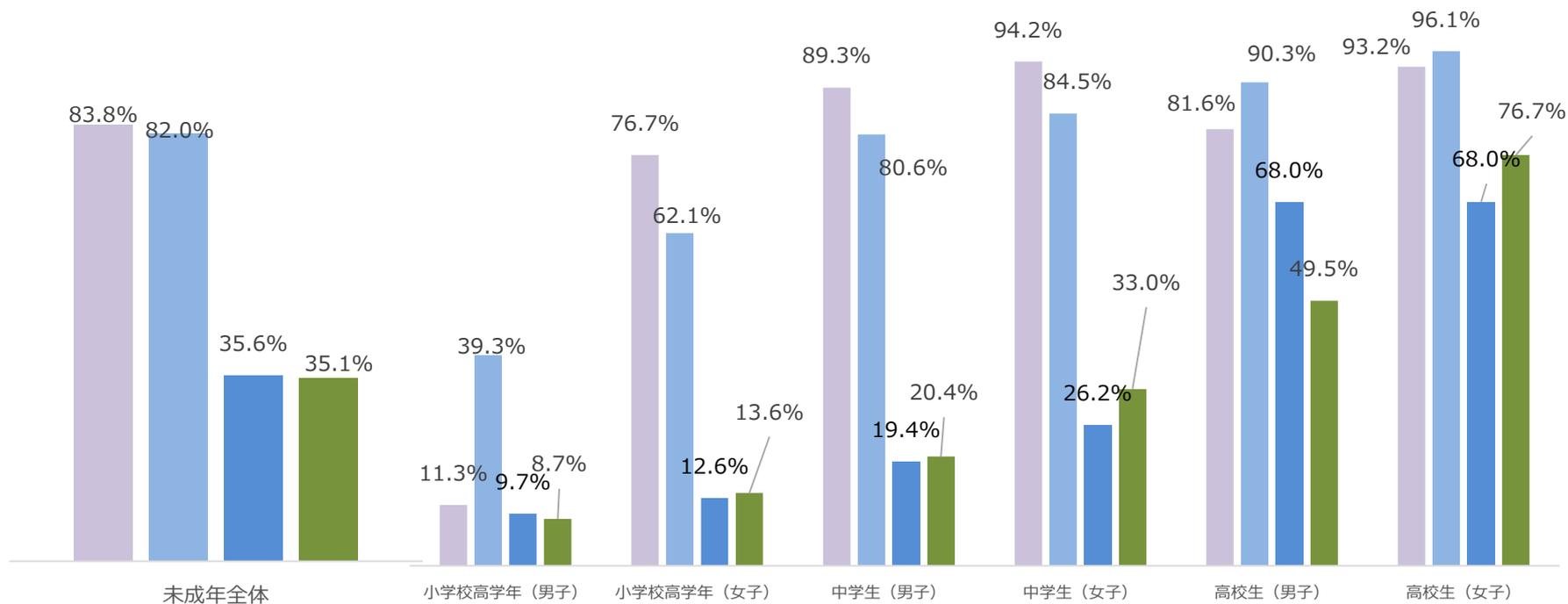
裏アカウントを持つ女子高校生は66.0%で、昨年より3.9%減少。小学生と男子中学生で増加傾向にあり、それぞれ小学生：男子 35.9%、女子 28.1%、男子中学生 33.0%。

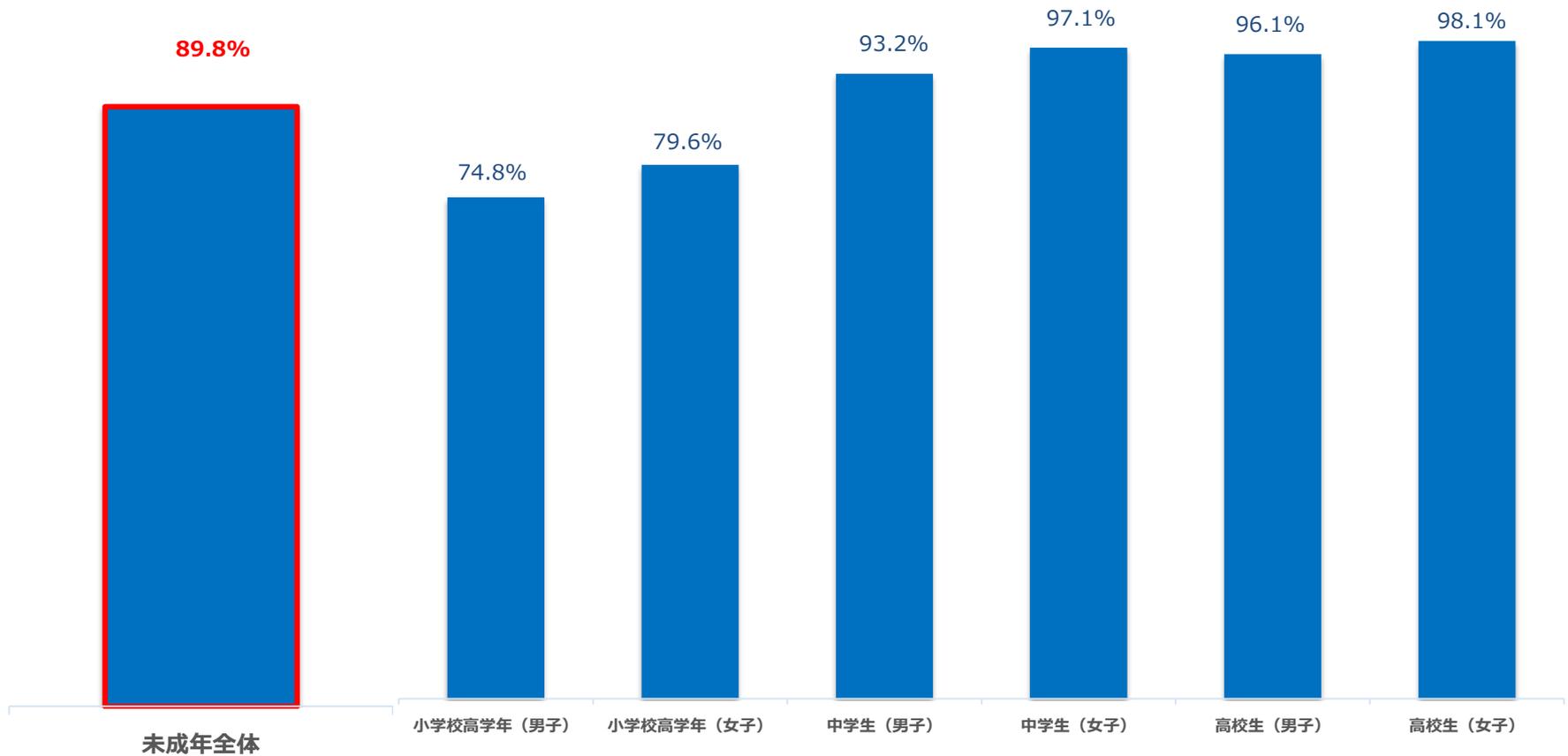
裏アカウント利用の低年齢化が進んでいる。

- 未成年全体では、1位：LINE 83.8%（昨年から1.8%増加）、2位：YouTube 82.0%（昨年から5.8%増加）
- その他の代表的なSNSでは、SNOWが20.5%、TikTokが19.6%

Q あなたが最近よく使うアプリはなんですか。

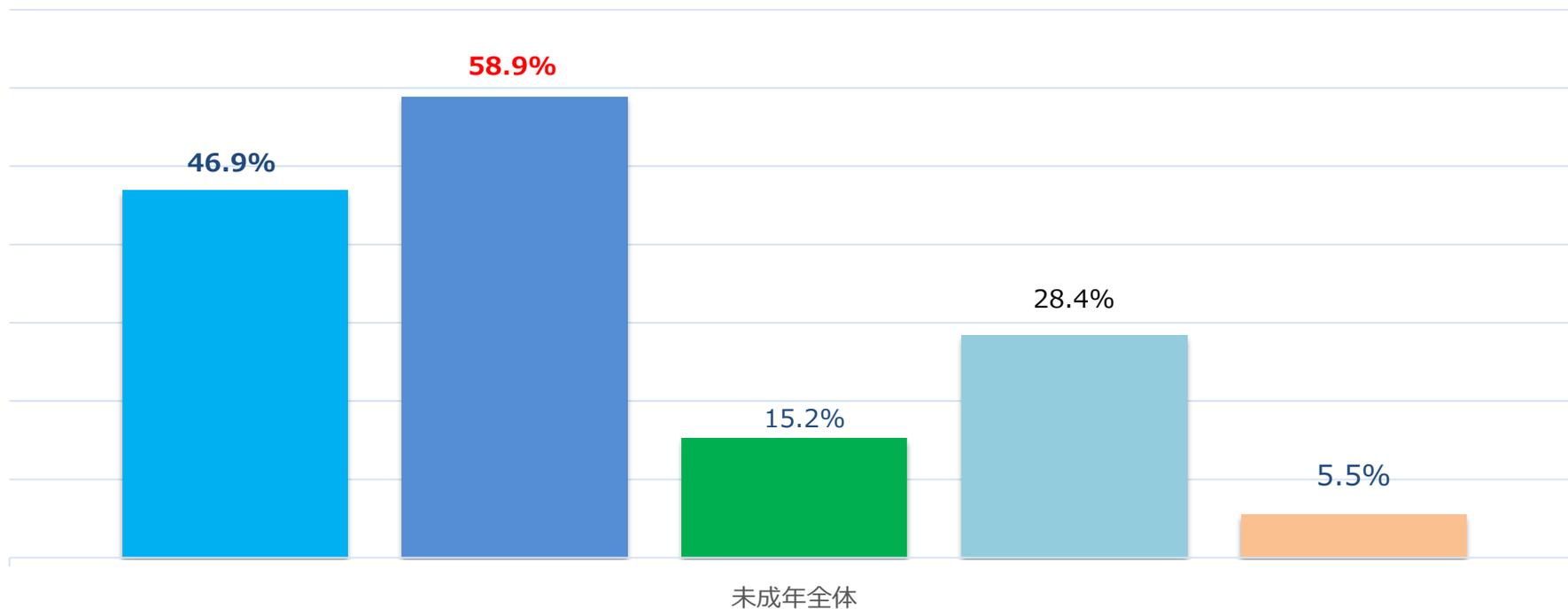
■ LINE ■ YouTube ■ Twitter ■ Instagram





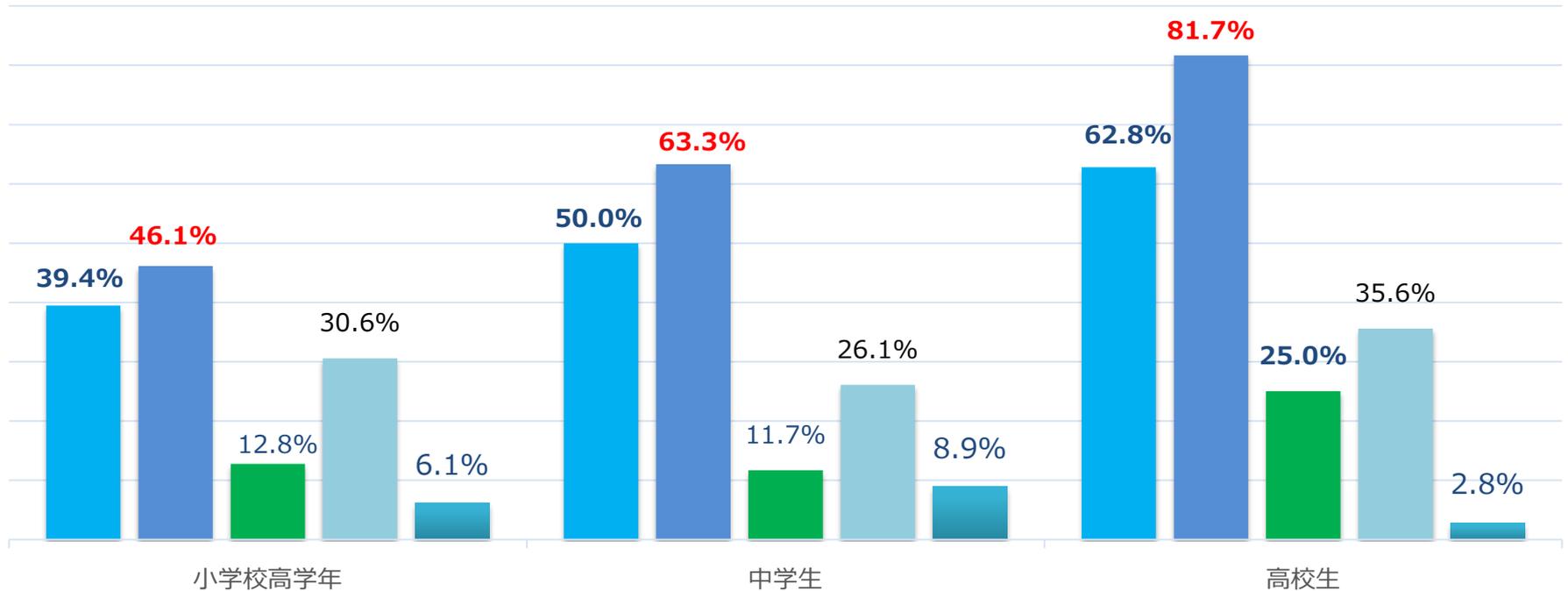
Q SNSまたは写真・動画アプリでどんな内容を、撮影・閲覧・投稿していますか。(いくつでも)

- 学校、プライベート、アルバイト先等での出来事、感じたことなど
- 趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報
- 自分の考え方や悩み事など
- 面白いネタ、話題、自己表現
- その他



Q SNSまたは写真・動画アプリでどんな内容を、撮影・閲覧・投稿していますか。（いくつでも）

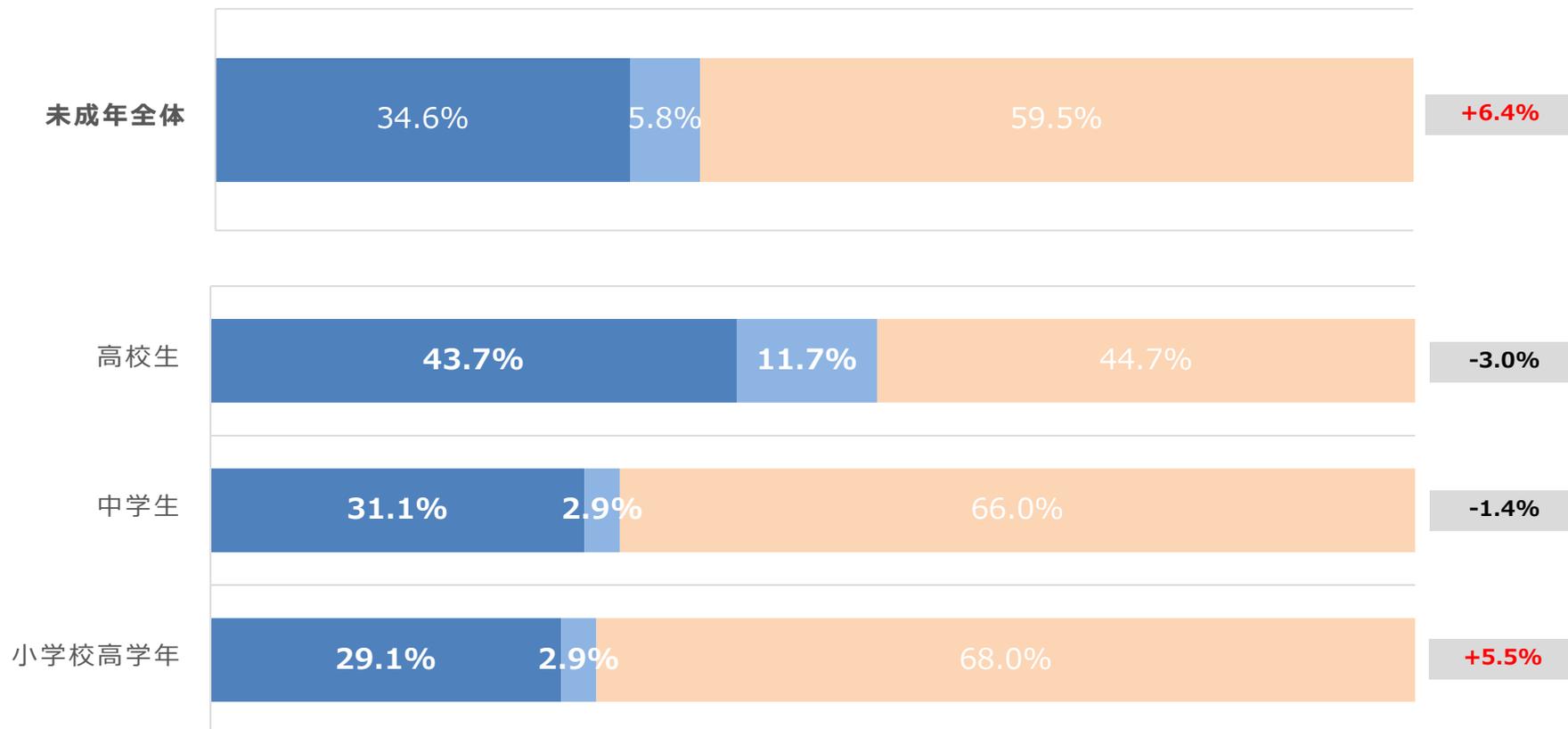
- 学校、プライベート、アルバイト先等での出来事、感じたことなど
- 趣味、好きな芸能人・アーティスト、好きなもの・ことなどの情報
- 自分の考え方や悩み事など
- 面白いネタ、話題、自己表現
- その他



Q ネットやSNSの裏アカウントを持っていますか。

■ 持っている（1つ～2つ） ■ 持っている（3つ以上） ■ 持っていない

前年比



# ③ ネット上のコミュニケーションと リスクに対する危機意識

## トピックス

### ネット限定の友達がいる未成年は増加傾向

### うち6割はネット上の会話を信頼しており、自身のネットリテラシーを過信

#### ■ ネット友達の有無

ネット上だけでコミュニケーションを取る友達（ネット友達）がいる未成年は40.1%で昨年から2.6%増加。

#### ■ ネット友達との関係性

ネット友達と実際に会った又は会いたいとする未成年は40.3%で昨年から9.7%減少、女子高校生は65.5%で昨年から6.0%減少するも依然として高い。

#### ■ ネット友達に対する信頼度

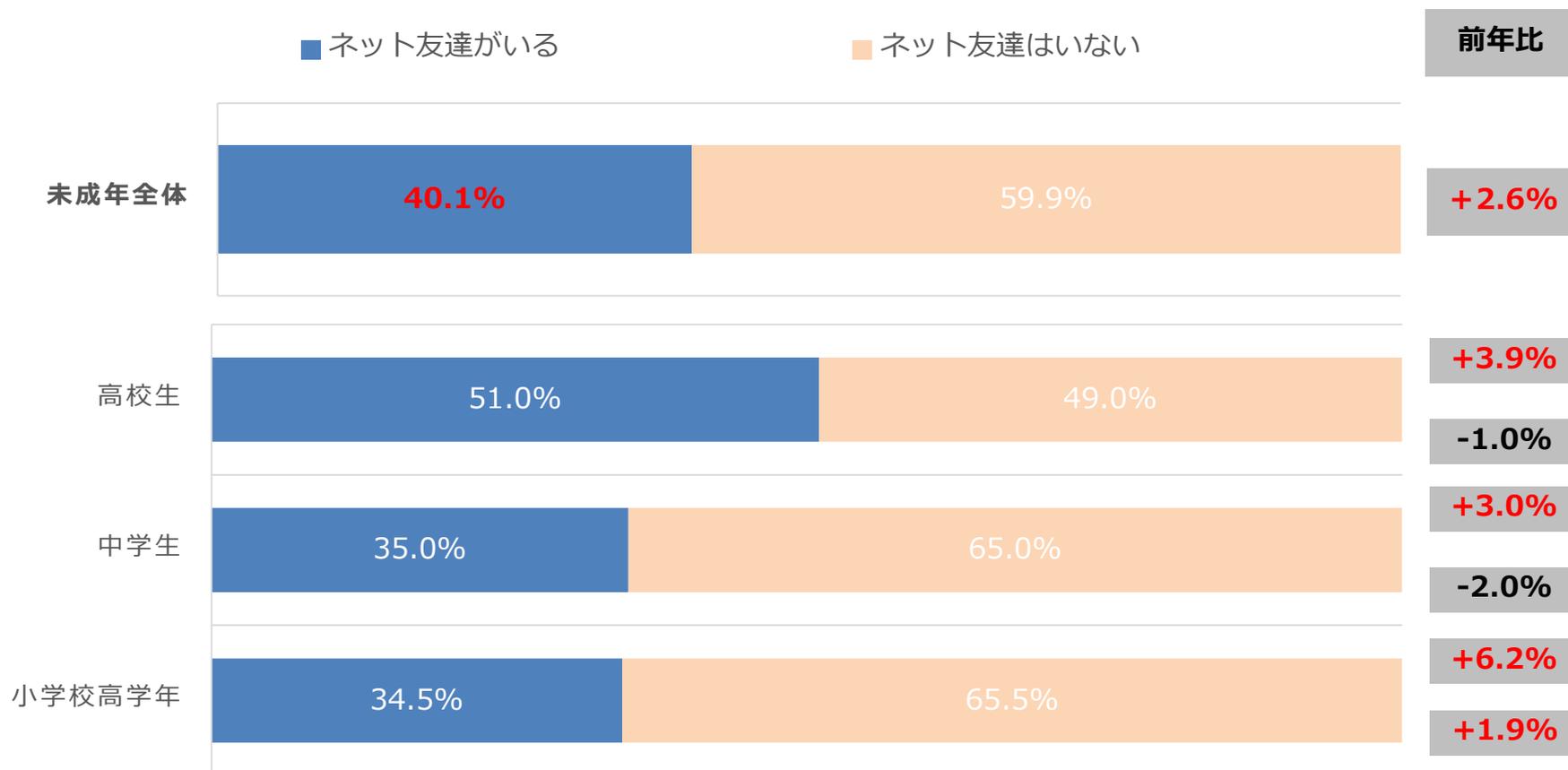
ネット友達と会いたい・写真を送っても良いなどと思った未成年者のうち60.7%は「ネット上で話すうちに信頼できると感じた」としている。

#### ■ ネット上のリスクに対する危機意識

ネット関連の事件で当事者になりうると感じる事件について、「特にない」と回答した保護者は38.3%で昨年から9.6%と大きく減少、未成年では42.1%昨年から1.9%減少。もっとも多い事柄は昨年と同様「個人情報への漏えい」で、未成年では43.5%（昨年から0.5%増加）。これに対し、「自画撮り被害」とネット上での出会いをきっかけとした被害については昨年から増加してはいるが、依然として危機意識を持つ割合は低い。

## ■ ネット上だけでコミュニケーションを取る友達（ネット友達）がいる未成年は40.1%で昨年から増加傾向

Q インターネット上だけでコミュニケーションを取る友達はいますか。

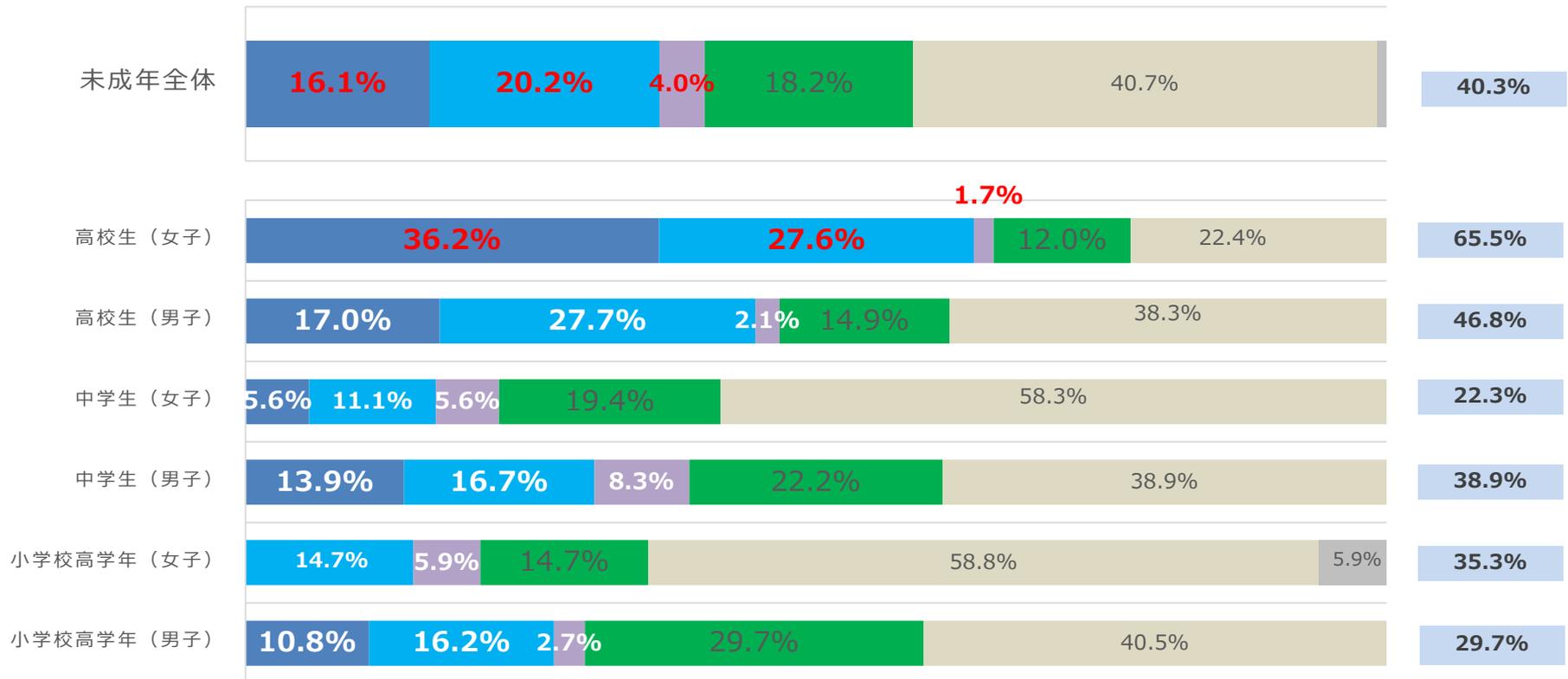


## ■ ネット友達と会った・または会いたいと希望する女子高校生は65.5% (昨年から6.0%減少)

Q インターネット上でコミュニケーションを取る友達との関係をこれからどうしていきたいですか。  
最もあてはまるものを1つお答えください

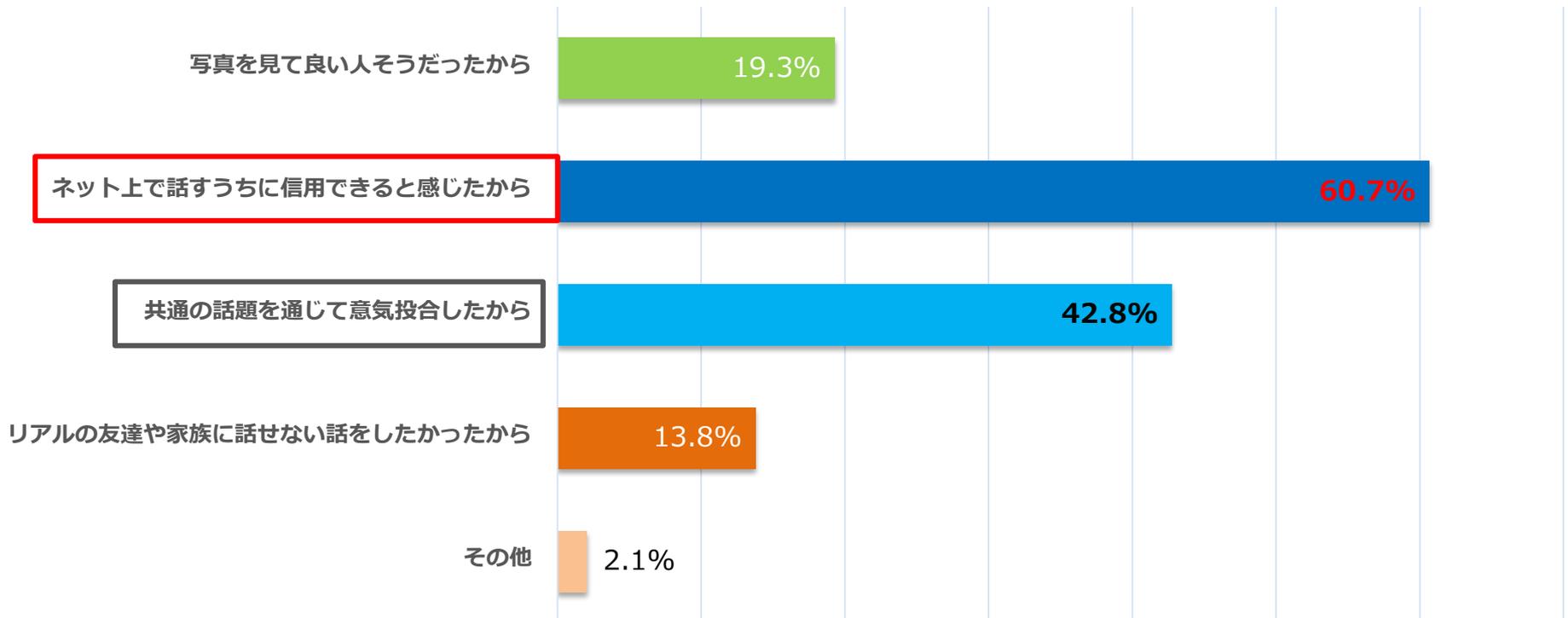
- 既に来ていてこれからも会いたい
- できれば会ってみたい
- 会ってみたがネット上の情報とは違っていたのでもう会うつもりもない
- 写真なら送っても良い
- 会うつもりも写真を送るつもりもなく、これからもネット上の会話だけで良い
- その他

会った・会いたい



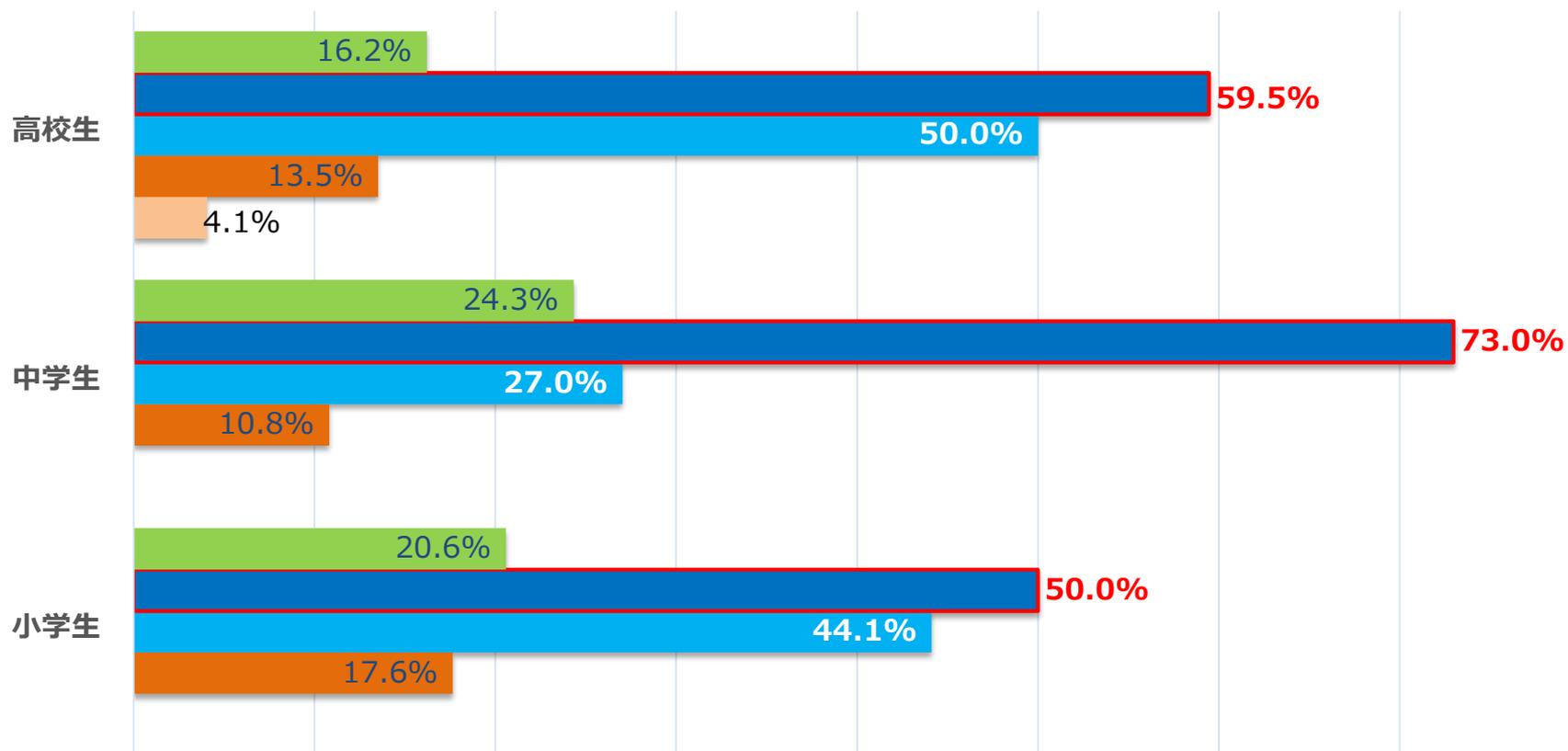
■ ネット友達がいる未成年が、相手と会いたい又は写真を送っても良いと考えた理由は、「ネット上で話すうちに信用できると感じたから」が60.7%。写真などネット上の情報を鵜呑みにはしないものの、会話を通じて自分が自分が信頼できると感じる傾向にある

Q ネット上で知り合った友達と会いたいまたは写真を送っても良いと思った理由をお聞かせください。（いくつでも）



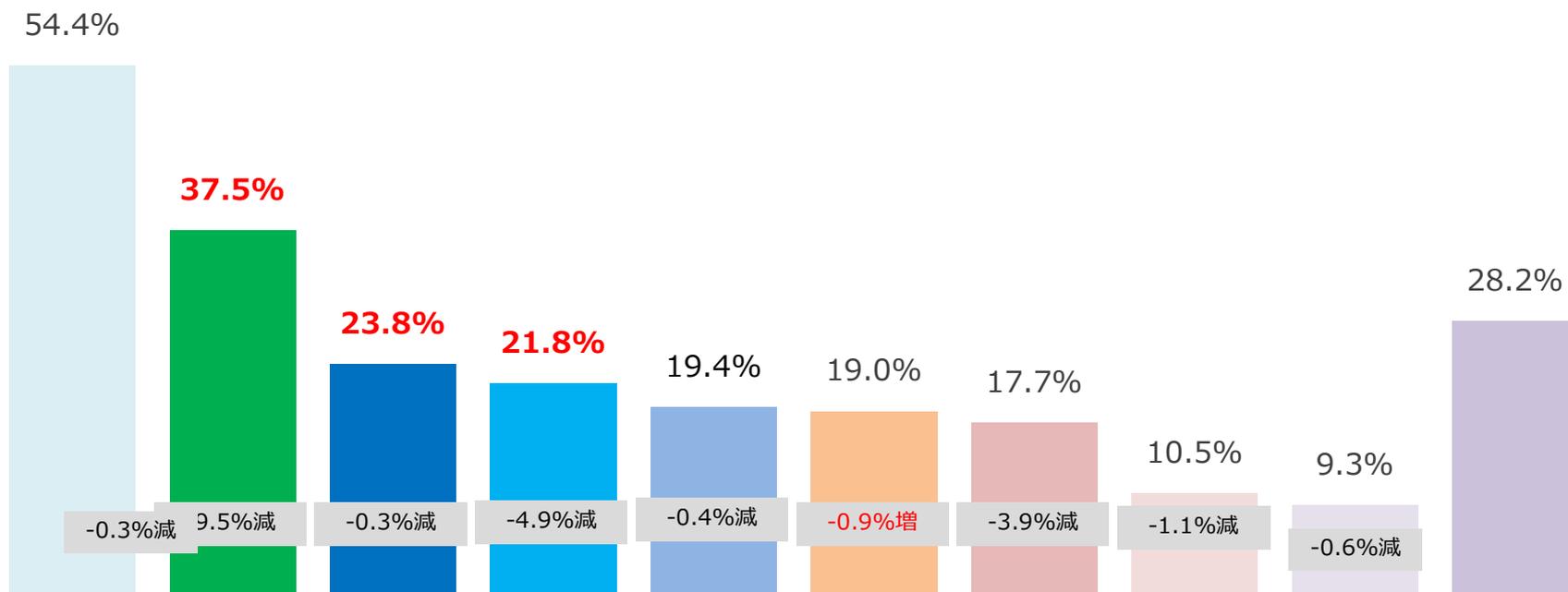
Q ネット上で知り合った友達と会いたいまたは写真を送っても良いと思った理由をお聞かせください。（いくつでも）

- 写真を見て良い人そうだったから
- ネット上で話すうちに信用できると感じたから
- 共通の話題を通じて意気投合したから
- リアルの友達や家族に話せない話をしたかったから
- その他



Q インターネット上でコミュニケーションを取る友達にどこまで情報を教えられますか。あてはまるもの全てを選んでください。

■ 年齢 ■ **住んでいる地域** ■ **顔・容姿** ■ **職業（会社名、学校名）** ■ 今の悩みごと ■ 将来の夢 ■ 本名 ■ 生い立ちや家族構成 ■ 恋愛状況 ■ 殆ど教えたくない

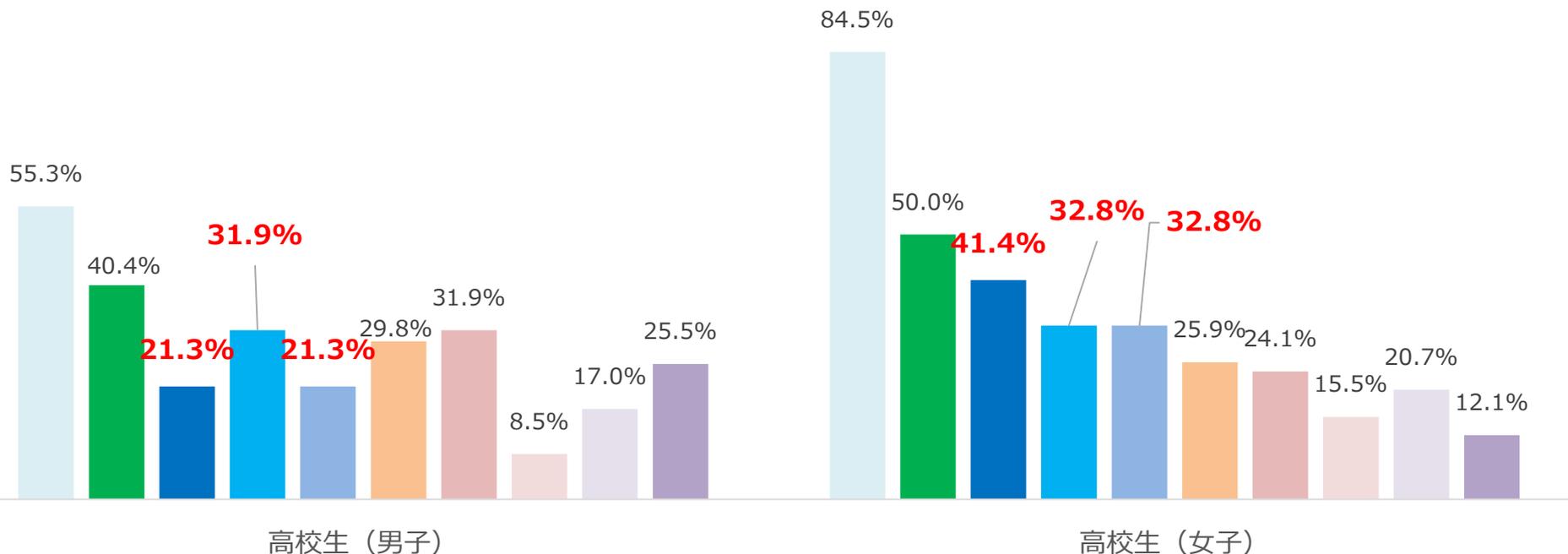


未成年全体

## ■ ネット友達のいる女子高校生の41.4%は「顔、容姿」、32.8%が「本名」 教えられるとしており、他の学齢に比べてハードルが低い

Q インターネット上でコミュニケーションを取る友達にどこまで情報を教えられますか。あてはまるもの全てを選んでください。

- 年齢
- 住んでいる地域
- 顔・容姿
- 職業（会社名、学校名）
- 本名
- 今の悩みごと
- 将来の夢
- 生い立ちや家族構成
- 恋愛状況
- 殆ど教えたくない

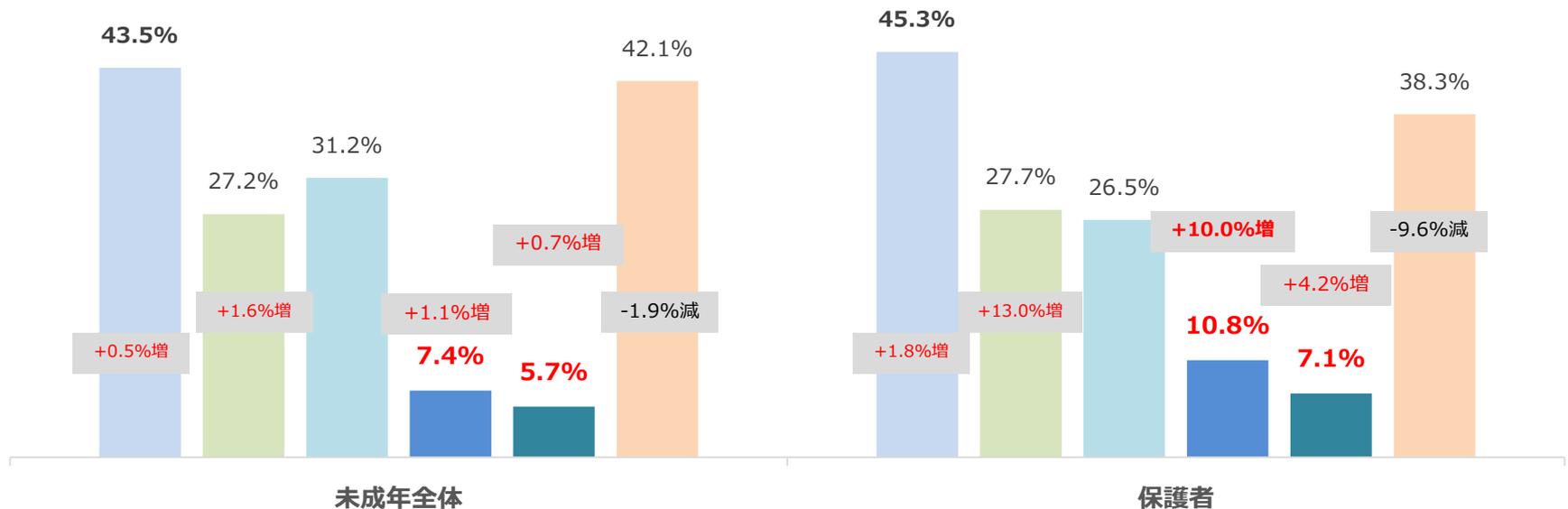


## 当事者になりうると感じたネット上の事件

- 昨年と同様「個人情報の漏えい」が最も多い
- 「特にない」と回答した保護者は38.3%で昨年から9.6%減少したものの、未成年全体では42.1%であり、ほとんど変わらない

Q インターネットに関連した事件で自分が当事者（被害者／加害者）になりうると感じた事件を選んでください。

- 個人情報の漏えい
- アカウントを乗っ取られて悪用される
- 自分の写真を送られ、脅迫される
- 自分／友達／知り合いの写真・動画を勝手にネット上に投稿される
- ネット上で知り合った人に誘拐／拉致／乱暴／殺害される
- 特にない

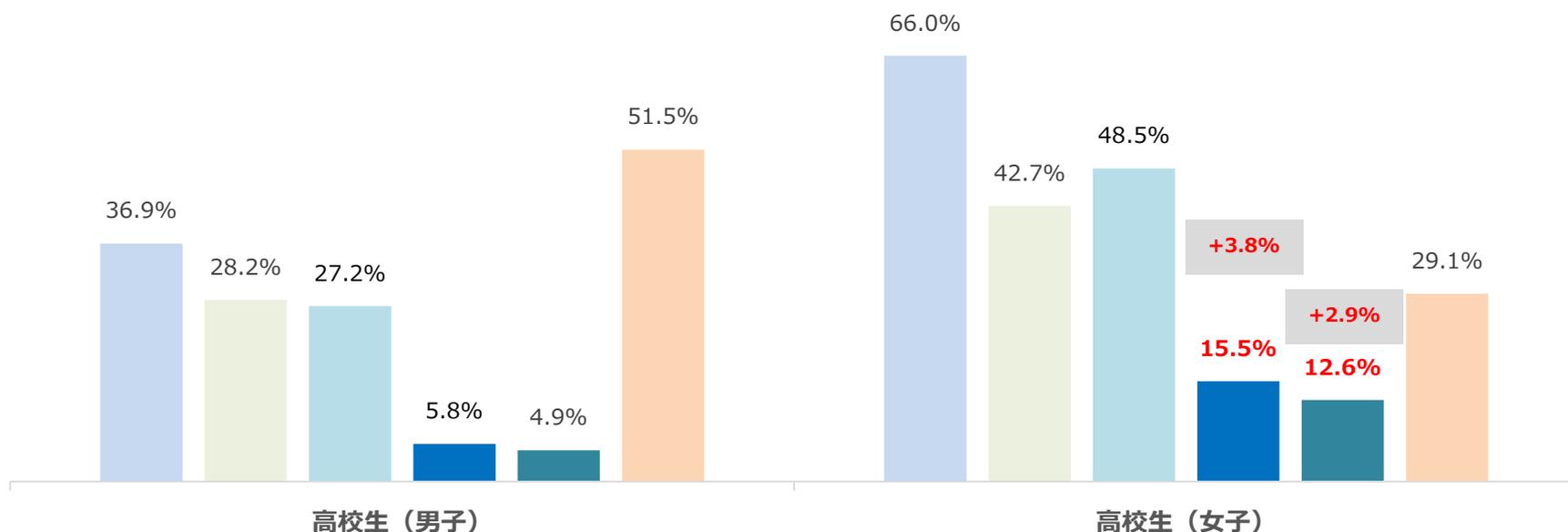


## 当事者になりうると感じたネット上の事件

- 「ネット上で知り合った人に誘拐／拉致／乱暴／殺害される」、  
「自分の写真を送らされ、脅迫される」について女子高校生の危機意識は微増傾向にあり、それぞれ15.5%（昨年から3.8%増加） / 12.6%（昨年から2.9%増加）

Q インターネットに関連した事件で自分が当事者（被害者／加害者）になりうると感じた事件を選んでください。

- 個人情報の漏えい
- アカウントを乗っ取られて悪用される
- 自分の写真を送らされ、脅迫される
- 自分／友達／知り合いの写真・動画を勝手にネット上に投稿される
- ネット上で知り合った人に誘拐／拉致／乱暴／殺害される
- 特にない



**④ 携帯電話・スマートフォン利用に  
対する保護者の意識  
(小学校高学年～高校生)**

## トピックス

### 保護者は子どもの使いすぎを心配しながらも、 具体的な対策を家庭で取れている保護者は全体の3割程度

#### ■ 端末を持たせる目的

子どもに携帯電話・スマートフォンを持たせる理由は「家族と連絡を取ったり、GPS機能などで安全を確認するため」が最も多く、69.5%。

#### ■ インターネット利用で不安な点/良い点

子どものインターネット利用で不安な点は、「知らない人と繋がり、事件に巻き込まれる」が最も多く、62.0%。使いすぎに起因する項目も多く、「健康被害」が54.9%、「学力低下」が45.1%であった。良い点としては、「家族と連絡が取りやすいので安心」が最も多く、71.5%。

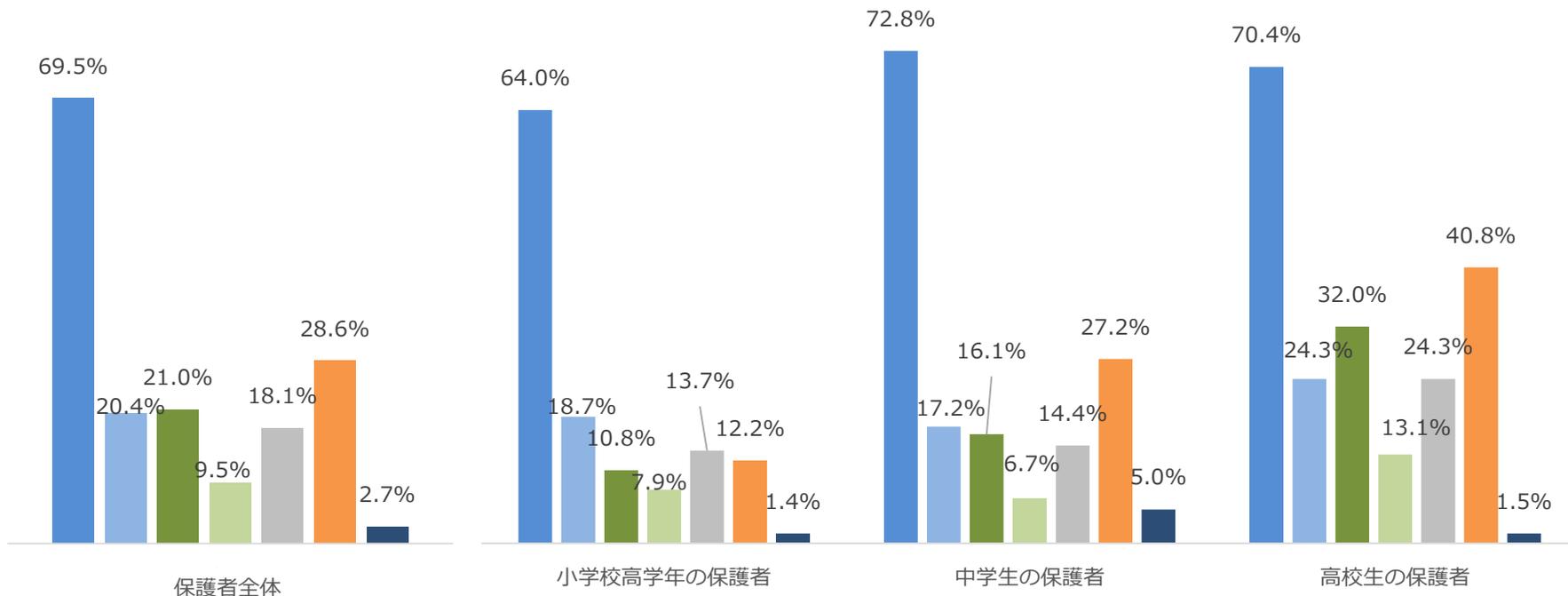
#### ■ 利用時間制限規制と使いすぎを防ぐ家庭での対策

スマートフォンやゲームの利用時間を制限すること自体には賛成の意見が大多数を占めるも、法律や条例以外の方法で制限した方が良いとする保護者が59.9%であった。しかし、使いすぎを防ぐ対策をとって「フィルタリングで利用時間の制限や使えるアプリを限定する等の制限をしている」保護者は24.1%。「利用時間などのルールを設けているがペナルティはない」/「子どもの判断に任せている」など具体的な基準を設けていない保護者は、それぞれ28.5/23.0%であり、実質子どもの自由に使わせている。

Q お子様携帯電話・スマートフォンを持たせているのはなぜですか。(いくつでも)

- 家族と連絡を取ったり、GPS機能などで安全を確認するため
- コミュニケーション手段とし、社会的な繋がりを広めるため
- 子供にせがまれたため
- その他

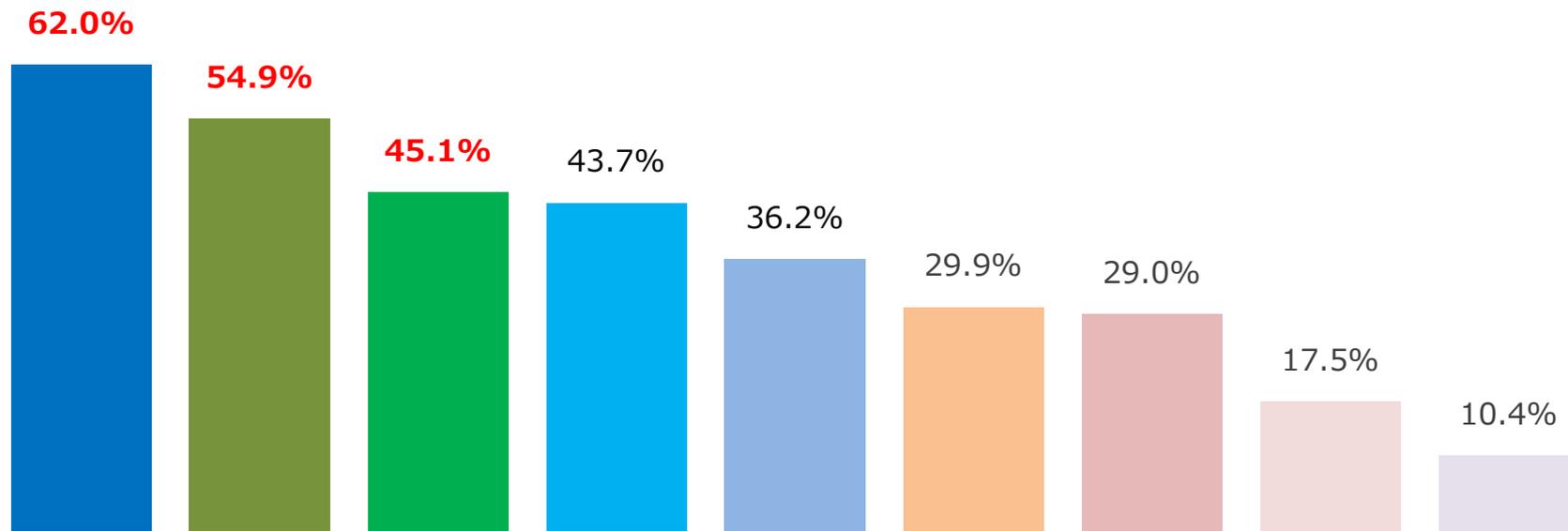
- 調べもの学習や知育アプリなど学習の助けとするため
- 若年のうちからコンピュータに慣れた方が社会に役立つため
- 同年代の子供の多くが持っているため



- 「知らない人と繋がり、事件に巻き込まれる」が最も多く、62.0%
- 使いすぎに起因する項目も多く、「健康被害」が54.3%、「学力低下」が45.1%であり、「不適切な内容のWebページ・コンテンツ等の利用」29.0%を大きく上回っている

Q お子様のインターネット利用について不安な点は何でしょうか。（いくつでも）

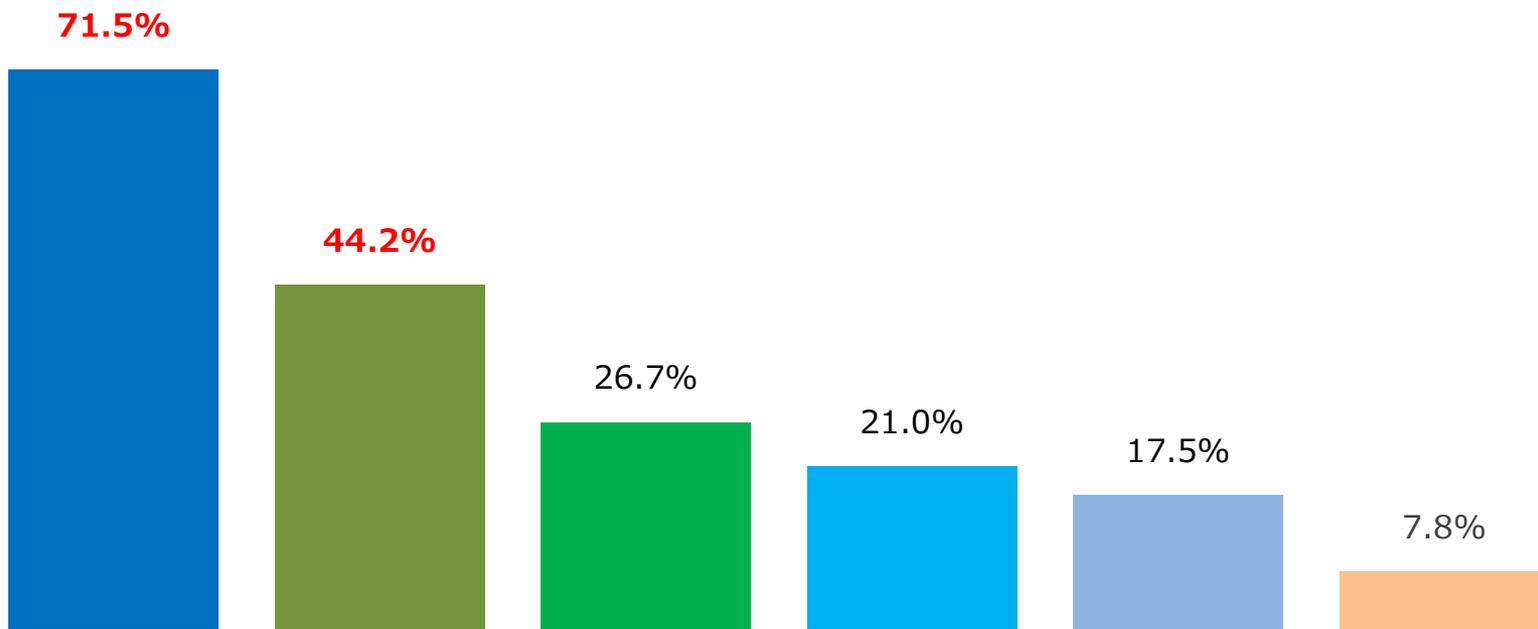
- 知らない人と繋がり、事件に巻き込まれる等の危険
- 使いすぎによる健康被害（目が悪くなる、寝不足など）
- 使いすぎによる学力低下
- スマホいじめ
- ゲーム課金・アプリ内課金など金銭面
- 不適切な内容のWebページ・コンテンツ等の利用
- 個人情報の漏洩等セキュリティ対策
- 家族間によるコミュニケーションが低下
- 不安な点はない



保護者全体

Q お子様のインターネット利用について良いと思う点は何でしょうか。(いくつでも)

- 家族と連絡が取りやすいので安心
- 調べもの学習や知育アプリなど学習の助けになる
- GPS機能などで子供の居場所がわかるので安心
- 若いうちにインターネットに慣れることで今後社会に出る際に役に立つ
- コミュニケーションの場が広がる
- 良いと思う点はない

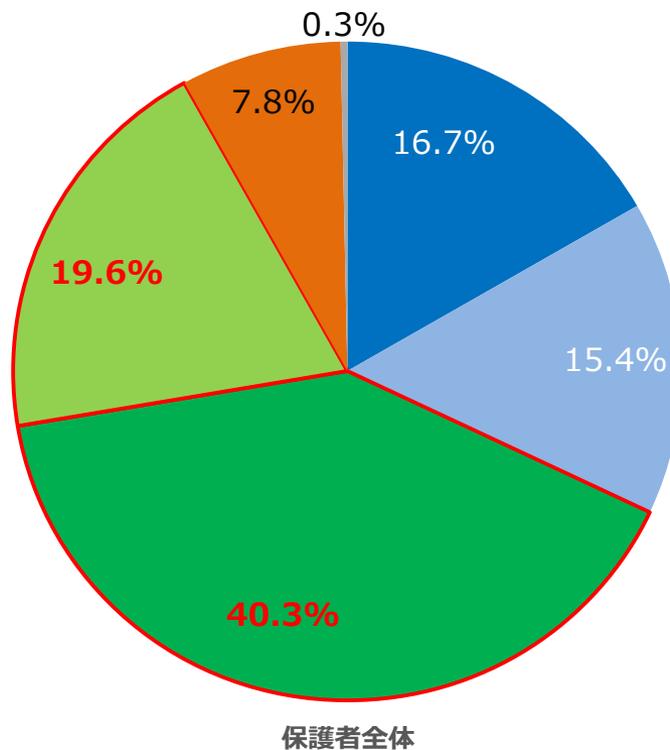


保護者全体

■ 子どものスマートフォン等利用時間について、制限した方が良いとする意見が92.0%  
ほとんどの保護者が制限を望むも、法律や条例以外の方法で制限した方が良いとする意見  
が59.9%であった

Q あなたはスマートフォンまたはゲームの利用時間を法律や条例で規制することについて、どう思いますか。

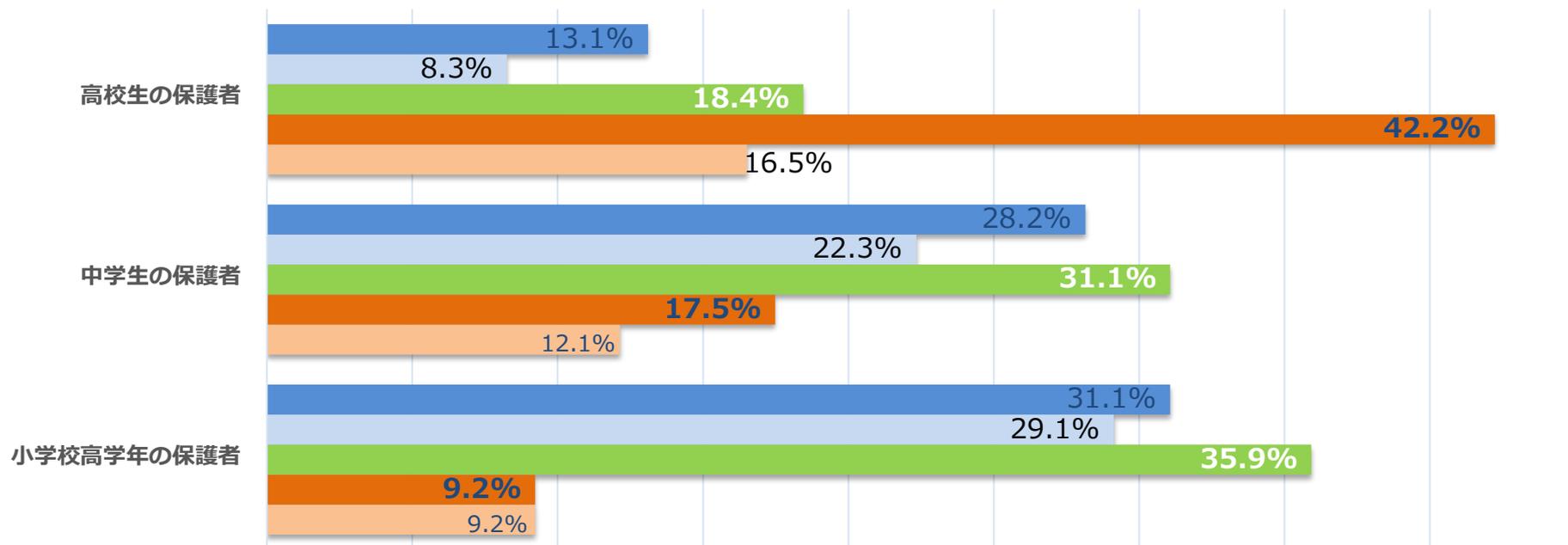
- 制限は必要なので、法律で罰則を設けて規制した方が良い
- 制限は必要だが、法律ではなく各家庭の判断で決めた方が良い
- 制限する必要はなく、好きだけ使えば良い
- 制限は必要なので、法律で規制した方が良いが罰則はなくて良い
- 制限は必要だが、法律ではなく端末で制限をかけるなど別の対策をした方が良い
- その他



- 使いすぎを防ぐ具体的な対策を取れている（「フィルタリングで利用時間の制限や使えるアプリを限定する等の制限をしている」）保護者は3割程度（小学校高学年で31.1%、中学生で28.2%）
- 実質子どもの自由に利用させている（「利用時間などのルールを設けているがペナルティはない」）保護者も3割程度（小学校高学年で35.9%、中学生で31.1%）

Q ご家庭でゲームまたはスマホの使いすぎを防ぐ対策を取られているでしょうか。次からお選びください。（複数回答可）

- フィルタリングで利用時間の制限や使えるアプリを限定する等の設定をしている
- 利用時間などのルールを家族で決めて、守れなかった場合ペナルティを設けている
- 利用時間などのルールを家族で決めて、ペナルティはない
- 子供の判断に任せている
- 対策が必要だと思うものの、何もしていない

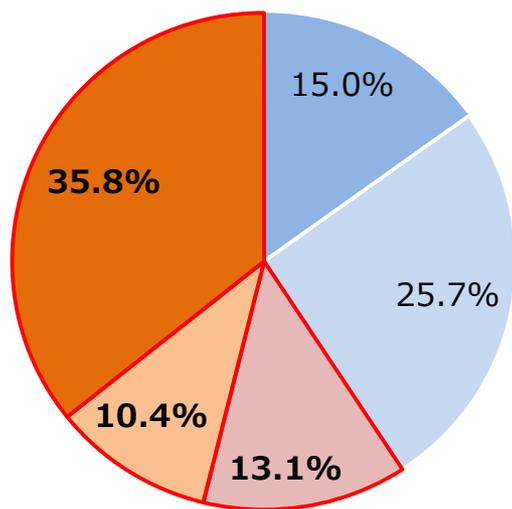


- 週1回～月1回程度である保護者は40.7%、年1回以下である保護者が59.3%。  
半数以上の保護者はSNS利用について子どもと話す機会を設けていない
- 保護者の44.5%は「子どもの利用状況を把握したい」、「コミュニケーションの一つ」として月1回以上話し合う機会を設けているが、24.1%は「話す必要がない」としている

Q SNSまたは写真・動画アプリの利用についてお子様と話し

合うことがありますか。

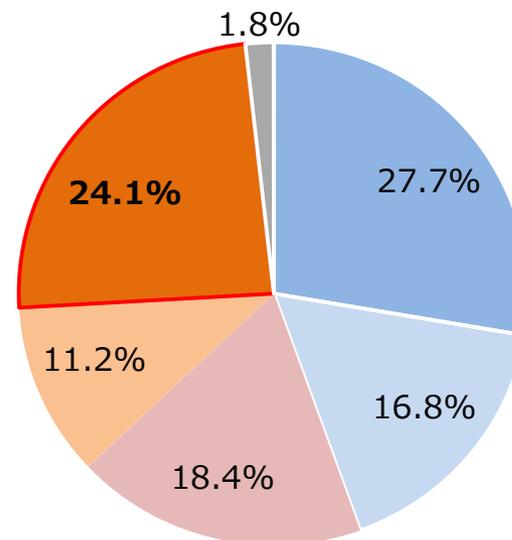
- 週1回以上話している
- 月1回程度話している
- 年1回程度話している
- 年1回未満話すことはある
- ほとんど話すことはない



保護者全体

Q それはなぜですか。最もあてはまるものをお答えください。

- 子供の利用状況を把握したいから
- コミュニケーションの一つとして話し合いたいから
- 会話の流れなどで特に理由はない
- 話したいと思うが子供が話したがるらない
- 話す必要がないので話さない
- その他

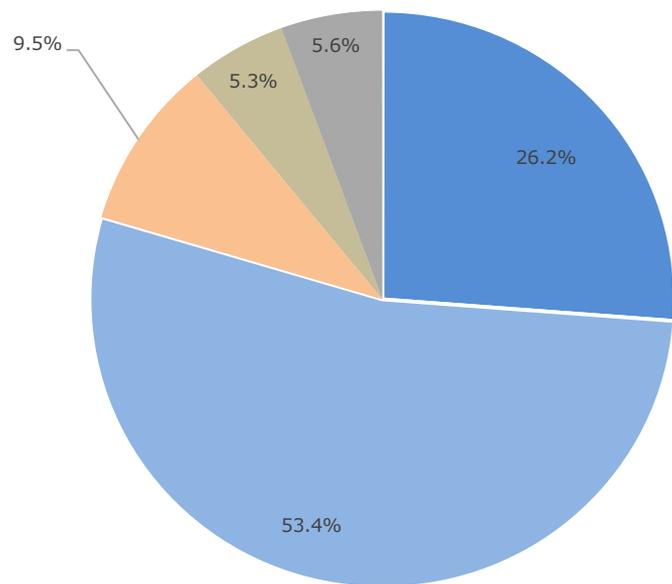


保護者全体

■ 学校で1人1台の端末が整備される学習環境について、良い要素と悪い要素のどちらもあると思うと答えた保護者が53.4%で大半を占めた

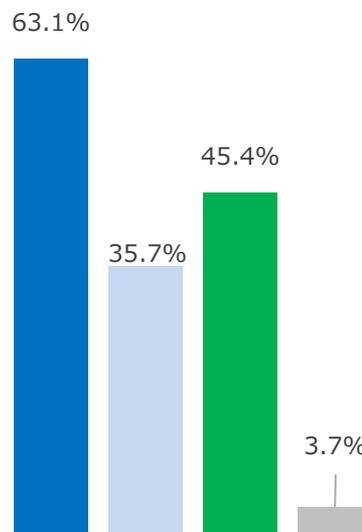
Q 学校での1人1台端末による学習環境についてどう思いますか。最もあてはまるものをお答えください。

- 良いと思う
- 悪いと思う
- わからない
- どちらの要素もあると思う
- 特に何も感じない



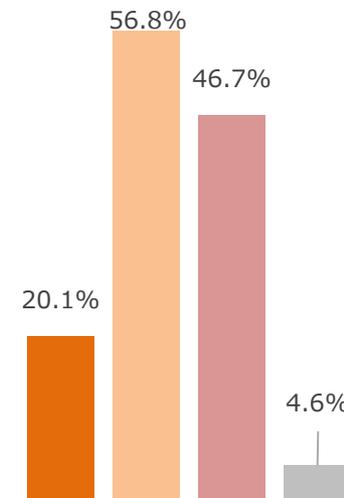
良い要素

- 学校での発展的な学習が期待できる
- 子どもの学習意欲が促される
- タブレット端末に慣れる機会になる
- その他



悪い要素

- 学校での学習に必要な
- 子供の遊び道具になる
- 親の目の届かない所でインターネットで繋がる
- その他



※ 文部科学省によって子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けて、令和5年度までに小・中学校全学年で1人1台端末による学習環境の整備達成を進める構想

**⑤ 携帯電話・スマートフォン利用に対する保護者の意識  
(未就学児～小学校低学年)**

## トピックス

### 未就学児の保護者の半数近くは子どもに専用端末を使わせている

発育の助け・今後社会に出る際に役に立つなどポジティブな理由も見られるが、仕方なく端末で子守をしたり、その結果想定外の使い方を子どもがしていたなどの悩みも持っている

#### ■ 子ども専用端末の所有率

子どもに何らかの専用端末を持たせている未就学児の保護者は44.7%、小学校低学年の保護者で67.5%。

#### ■ 端末で子守をした経験、子どもが想定外の使い方をしていた経験

未就学児の保護者の89.8%、小学校低学年の保護者の75.2%がスマートフォンやタブレット端末で子守をした経験があり、そのうち約半数は想定外の使い方を子どもがしていた経験があると回答した。

#### ■ 子どものインターネット利用で不安な点/良い点

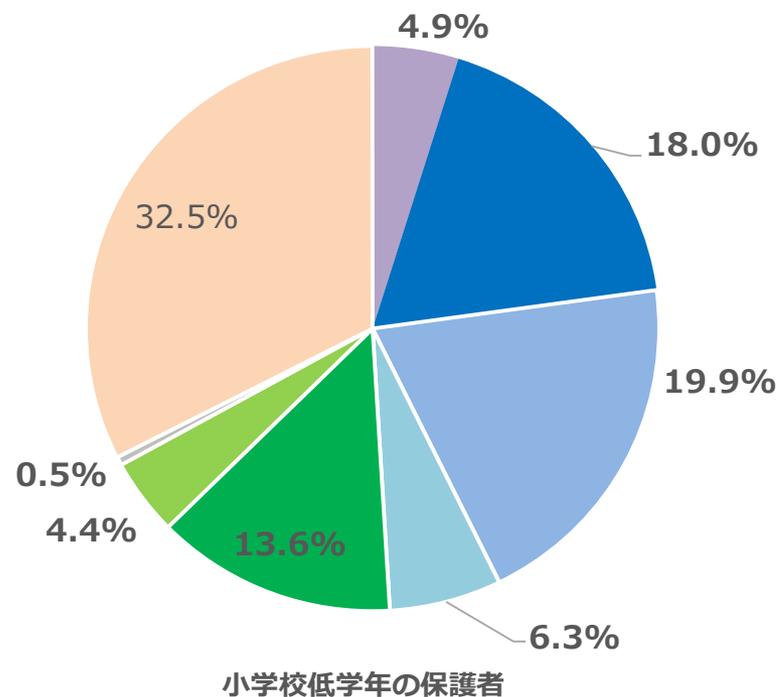
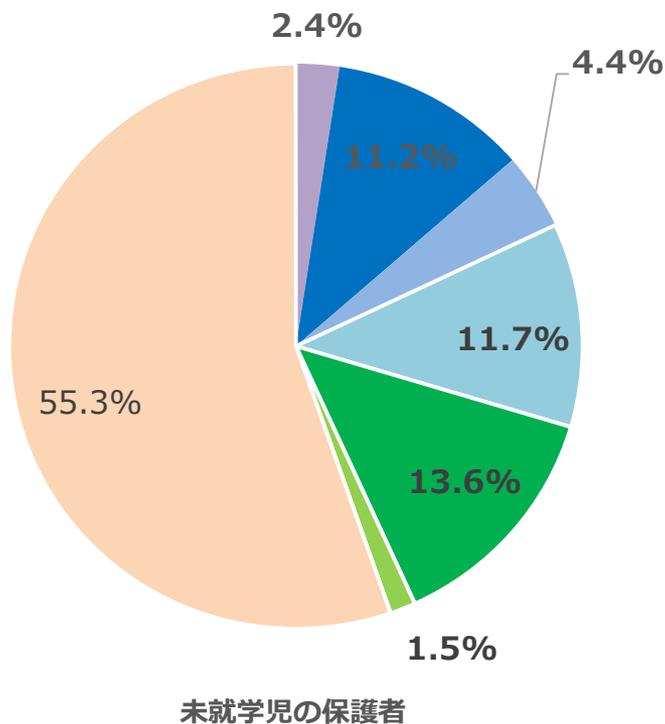
不安な点は「使いすぎによる健康被害」が最も多く、78.4%。次いで、「不適切な内容のWebページ・コンテンツ等の閲覧」が60.0%であった。

良い点としては、「家族と連絡が取りやすいので安心」が最も多く、46.8%で、「言葉を覚えるなど発達の助けになる」が30.6%、「今後社会に出る際に役に立つ」といったポジティブな理由が小学校高学年以上の保護者と比べて多かった。

## ■ 子どもに何らかの専用端末を持たせている保護者は、 未就学児の保護者で44.7%、小学校低学年の保護者で67.5%であった

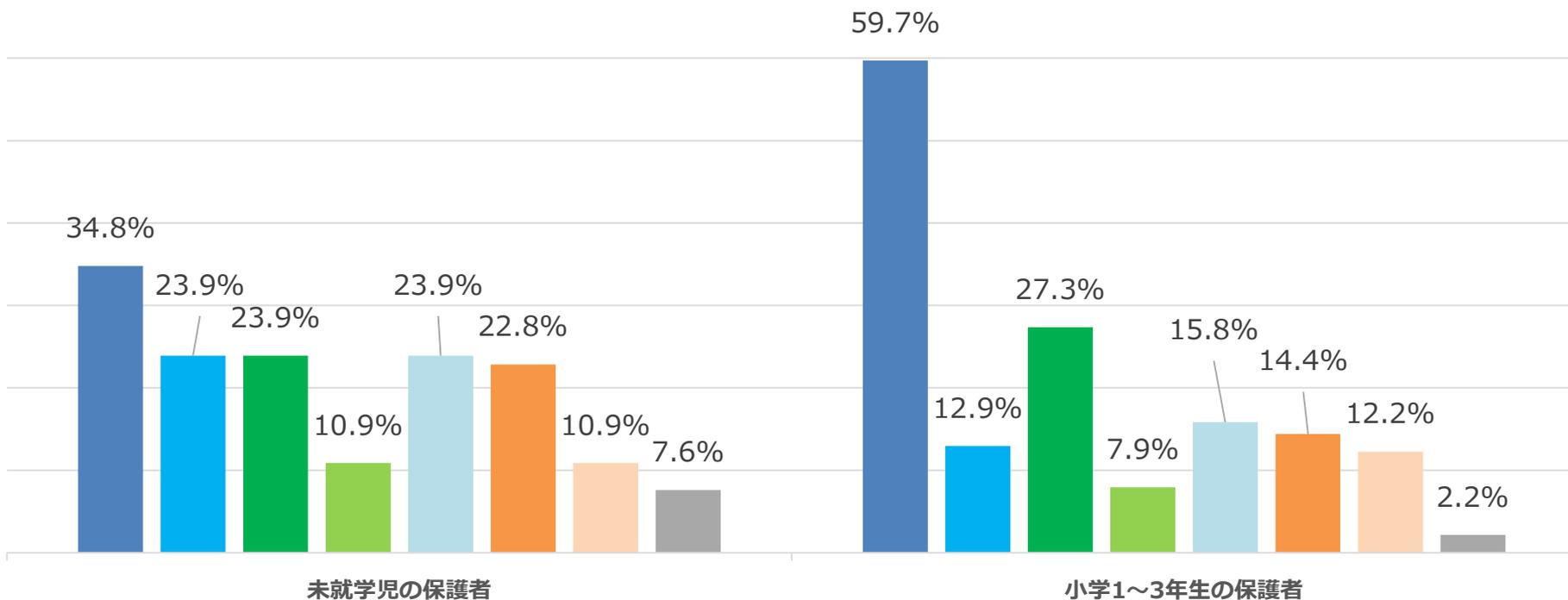
Q あなたはお子様に専用の端末を持たせていますか。持たせている場合はその端末をお選びください。

- 携帯電話（ガラケー）
- スマートフォン
- 子供用携帯電話
- 契約の切れた中古のスマートフォン
- タブレット端末
- 携帯ゲーム機（ウェブブラウジングが可能なもの）
- その他
- 持たせていない



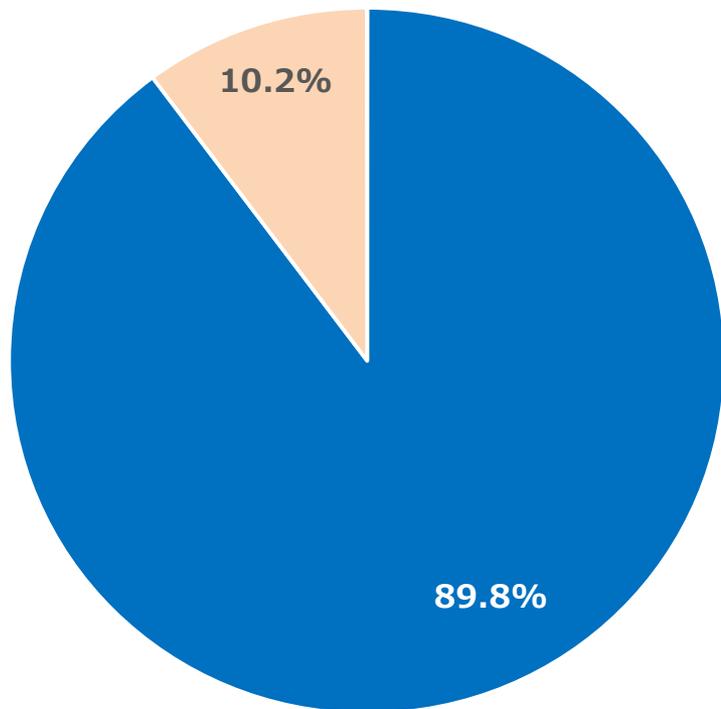
Q お子様に端末を持たせているのはなぜですか。（複数回答可）

- 家族と連絡を取ったり、GPS機能などで安全を確認するため
- 家族と接する時間が少ないため、遊び道具代わりに
- 調べもの学習や知育アプリなど学習の助けとするため
- コミュニケーション手段とし、社会的な繋がりを広めるため
- 若年のうちからコンピュータに慣れた方が社会に役立つため
- 子供にせがまれたため
- 同年代の子供の多くが持っているため
- その他

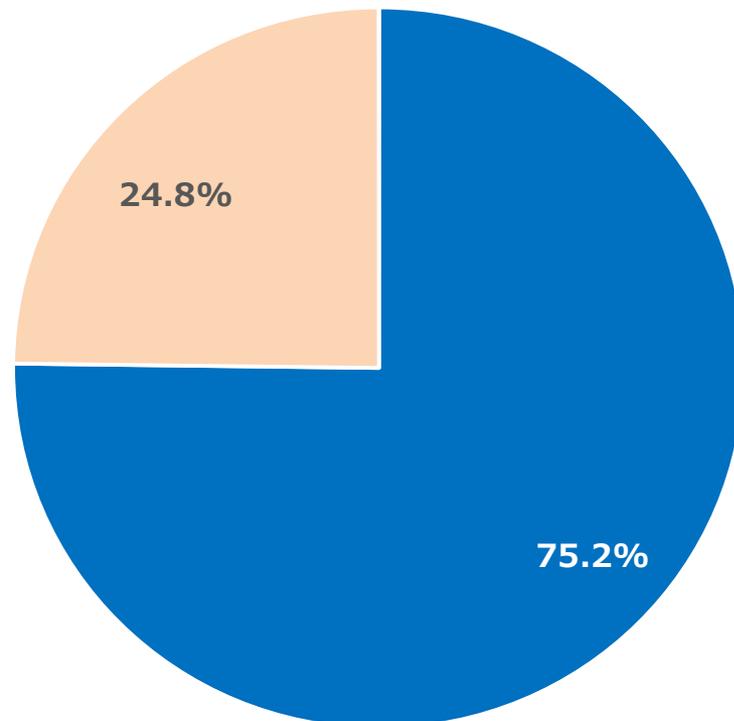


Q スマートフォンやタブレット端末等で動画等のコンテンツを見せて子守をしたことがありますか。

■ ある                      ■ ない



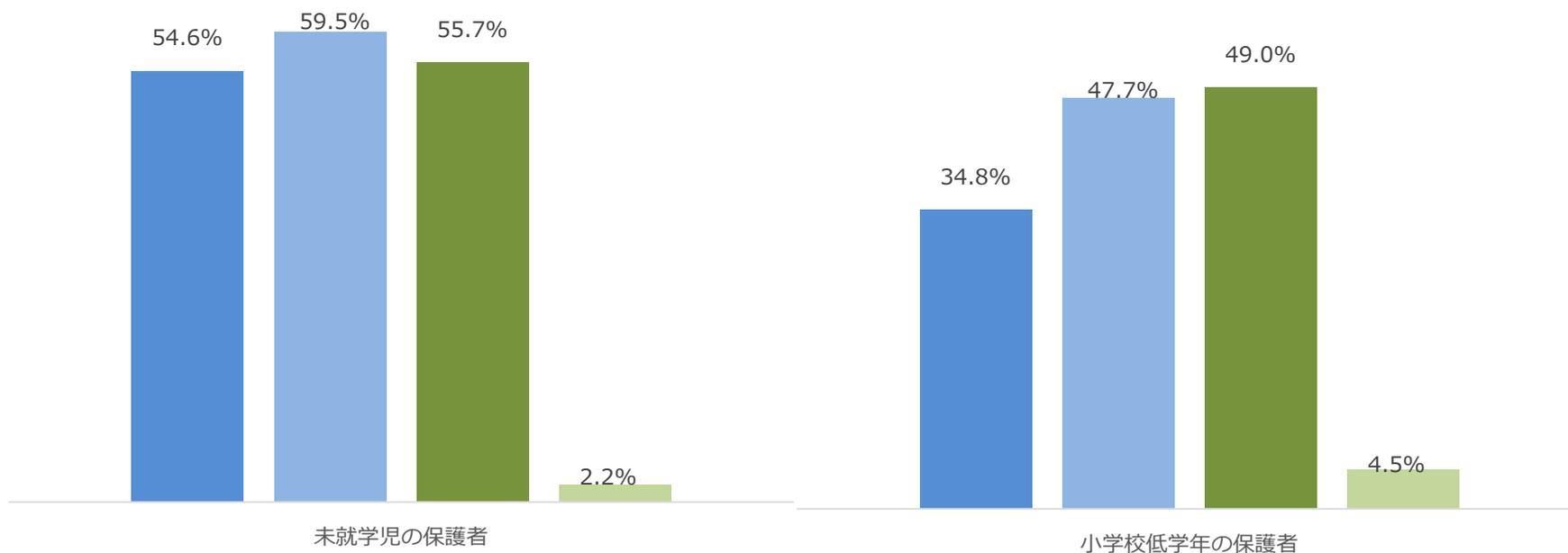
未就学児の保護者



小学校低学年の保護者

Q スマートフォンやタブレット端末等で子守をした際はどのような状況でしたか。（複数回答可）

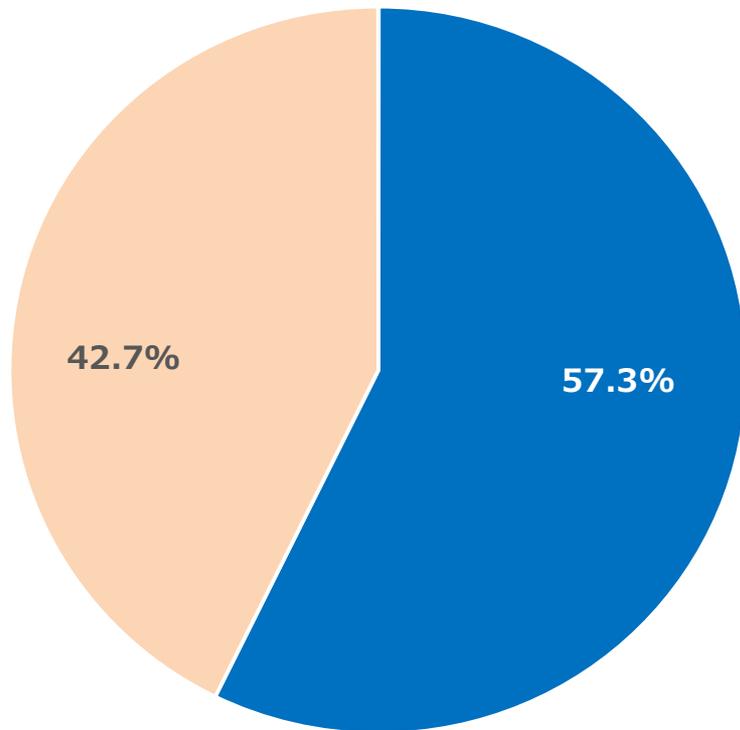
■ 手が離せなかった      ■ 子供にせがまれて仕方なく      ■ 公共の場で静かにさせるため      ■ その他



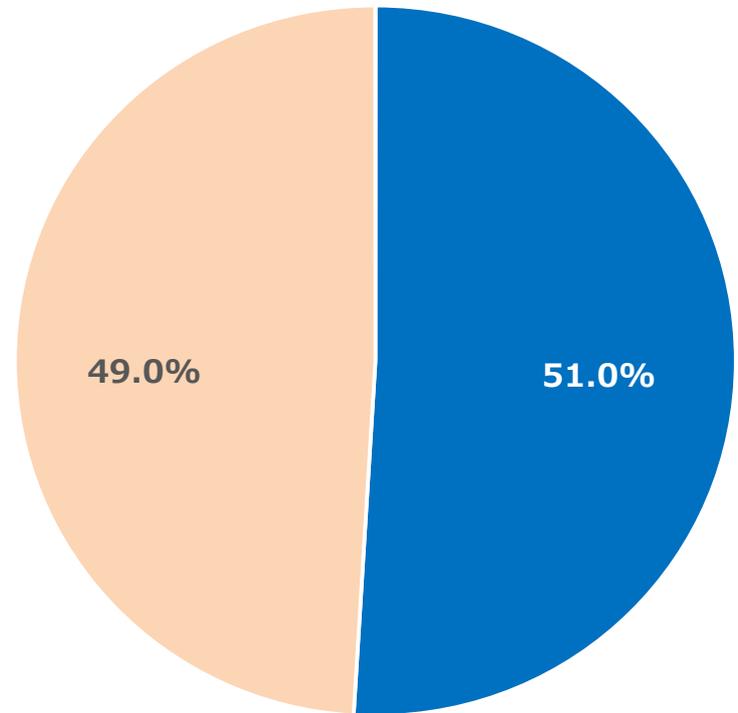
Q お子様が想定外の使い方をしてきた経験はありますか。

■ ある

■ ない



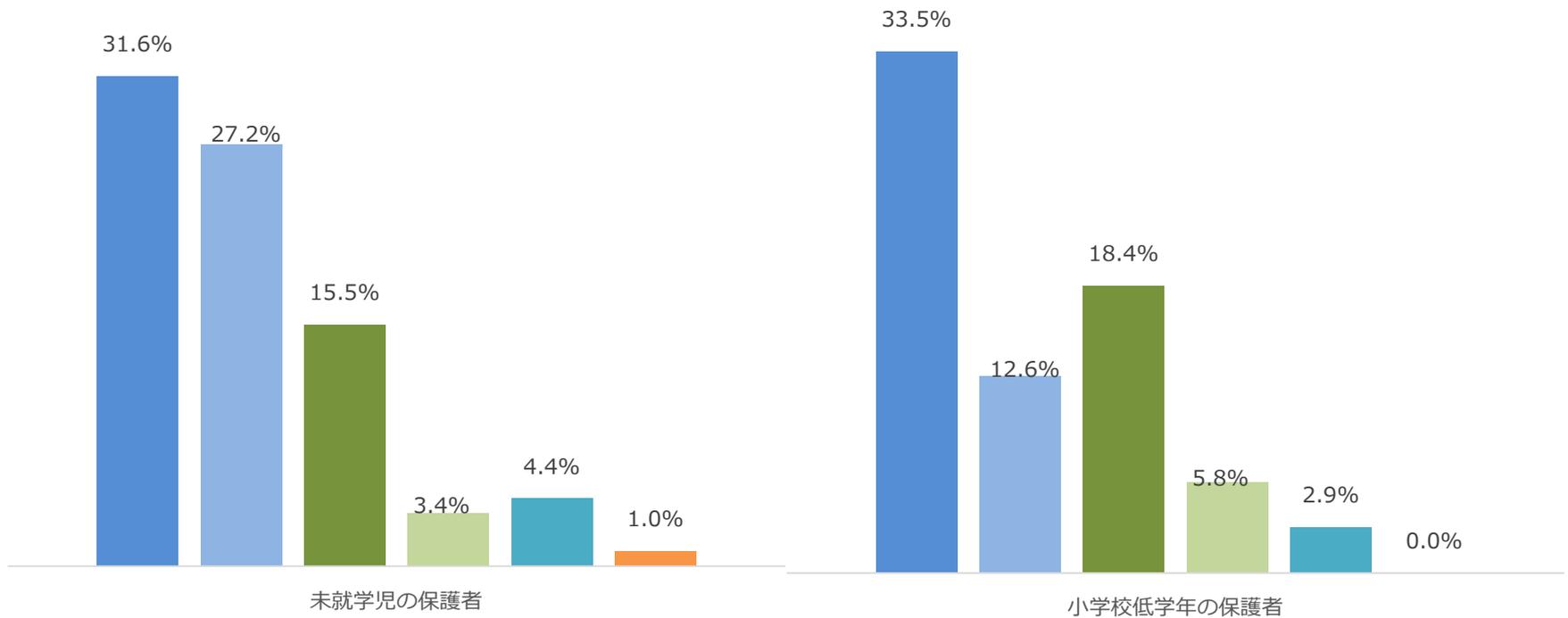
未就学児の保護者



小学校低学年の保護者

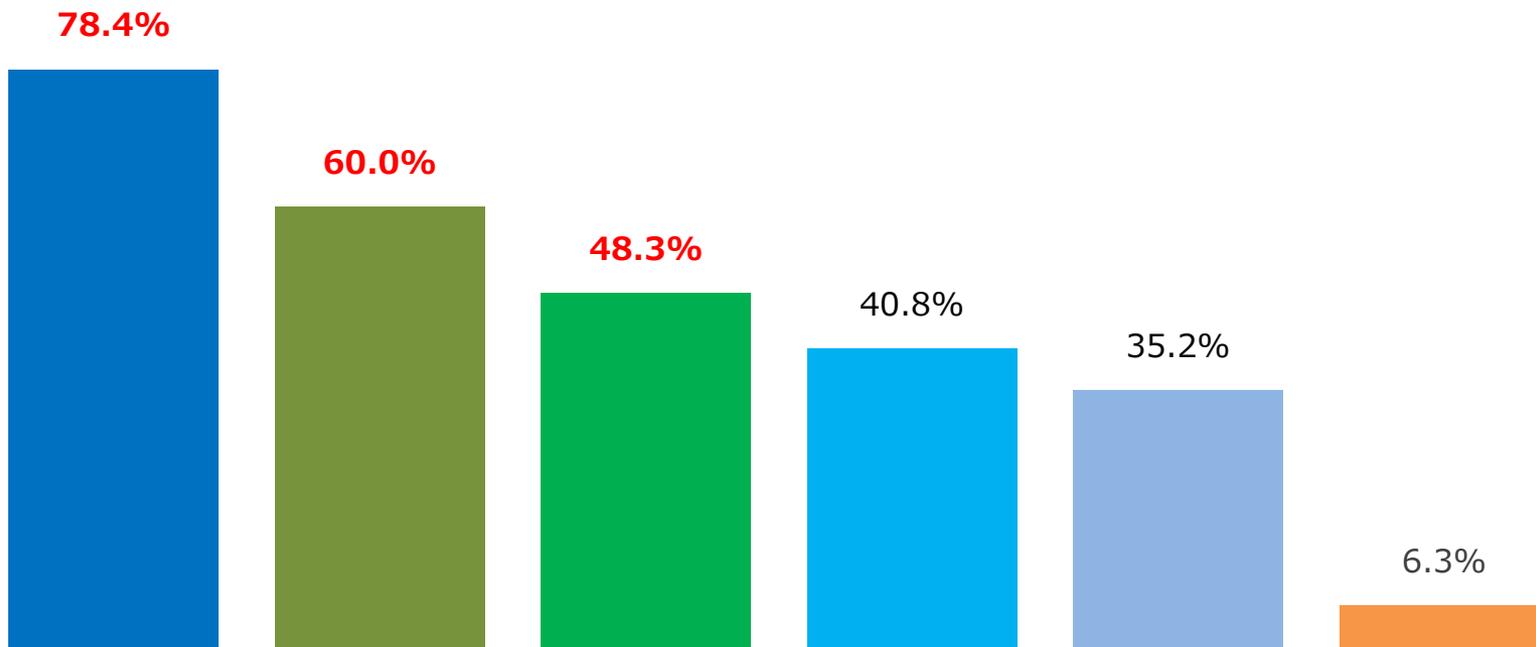
Q お子様が想定外の使い方をしてきた経験はありますか。ある場合はどのような経験でしょうか。（複数回答可）

- 動画を見ていた
- 電話が発信されていた
- ネットショッピングをしていた（画面を見ていた）
- カメラを起動していた
- SNSを起動していた
- その他



Q お子様のインターネット利用について不安な点は何でしょうか。(いくつでも)

- 使いすぎによる健康被害（目が悪くなる、寝不足など）
- 不適切な内容のWebページ・コンテンツ等の閲覧
- ゲーム課金・アプリ内課金など金銭面
- 使いすぎによるコミュニケーション不足
- 個人情報の漏洩等セキュリティ対策
- 不安な点はない

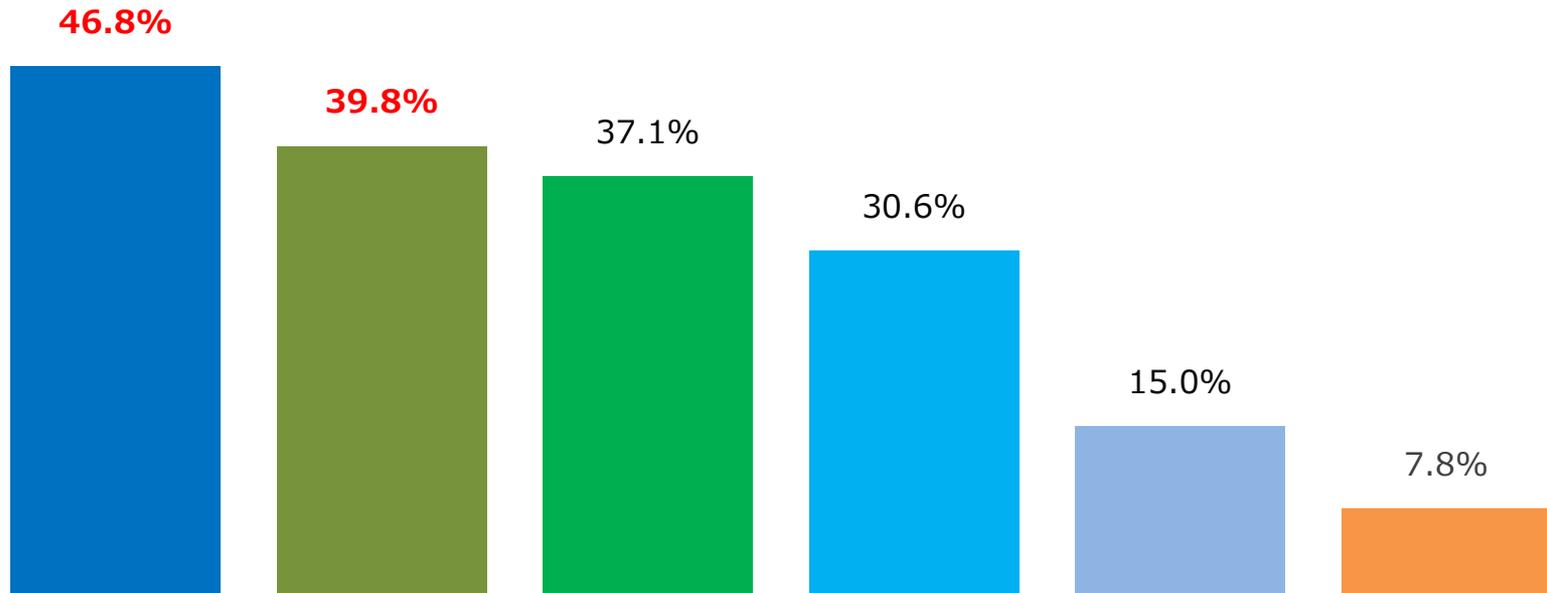


未就学児～小学校低学年の保護者

- 「家族と連絡が取りやすいので安心」が最も多い。
- 「今後社会に出る際に役に立つ」が37.1%、「言葉を覚えるなど発達の助けになる」が30.6%など。小学校高学年以上の保護者に比べてポジティブな理由が挙がる割合が高かった

Q お子様のインターネット利用について良いと思う点は何でしょうか。（いくつでも）

- 家族と連絡が取りやすいので安心
- 今後社会に出る際に役に立つ
- コミュニケーションの場が広がる
- GPS機能などで子供の居場所がわかるので安心
- 言葉を覚えるなど発達の助けになる
- 良いと思う点はない



小・中・高校生の保護者

## ⑥ フィルタリングの利用率

## トピックス

### ■ フィルタリング設定説明の有無

携帯電話またはスマートフォン契約時にフィルタリングの説明を受けた未成年は45.3%で昨年から7.6%減少した。

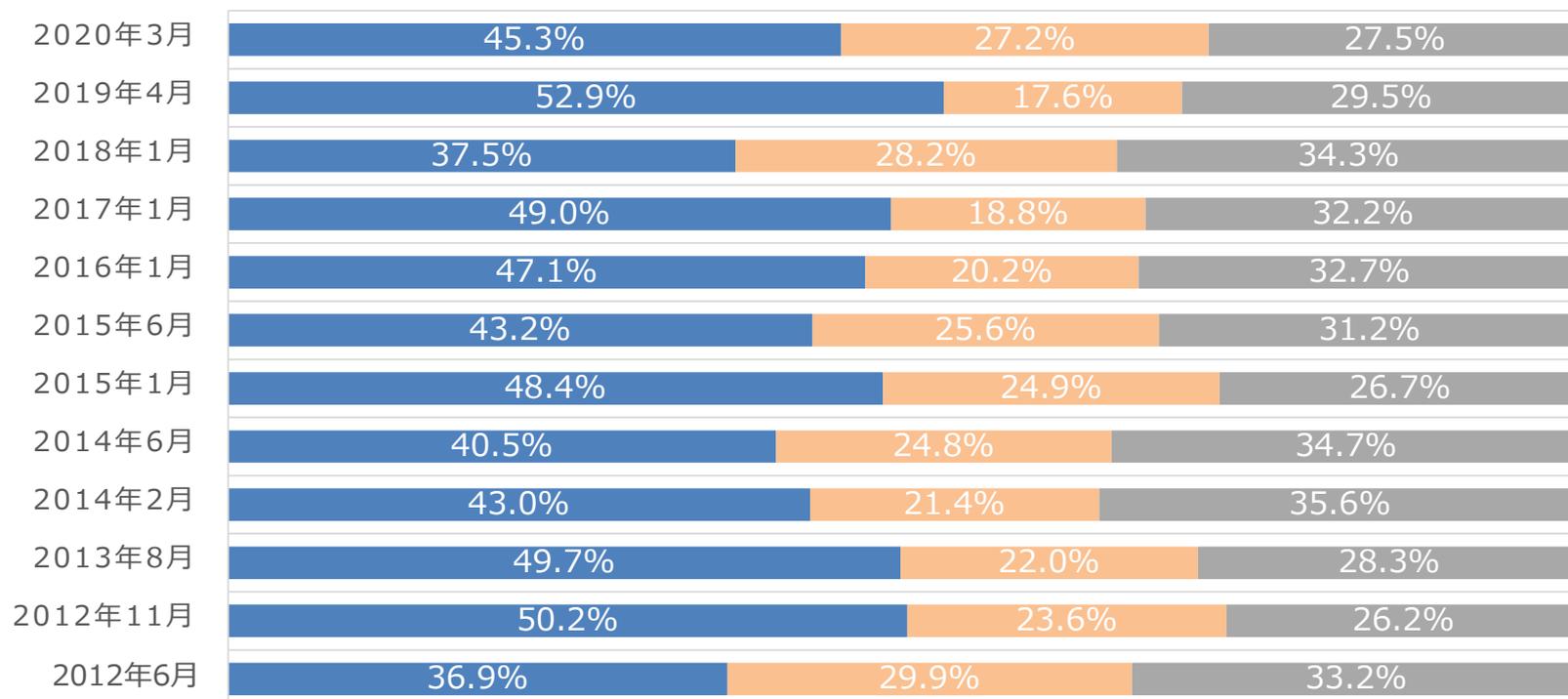
### ■ フィルタリングの利用率

フィルタリングを現在使用している未成年は35.0%で、昨年から5.0%減少、学齢別に見ると中学生の使用率が大きく減少しており、昨年から15.5%減少した。

## ■ 「携帯購入時にフィルタリングの説明を受けた」未成年は45.3%と 昨年から7.6%減少

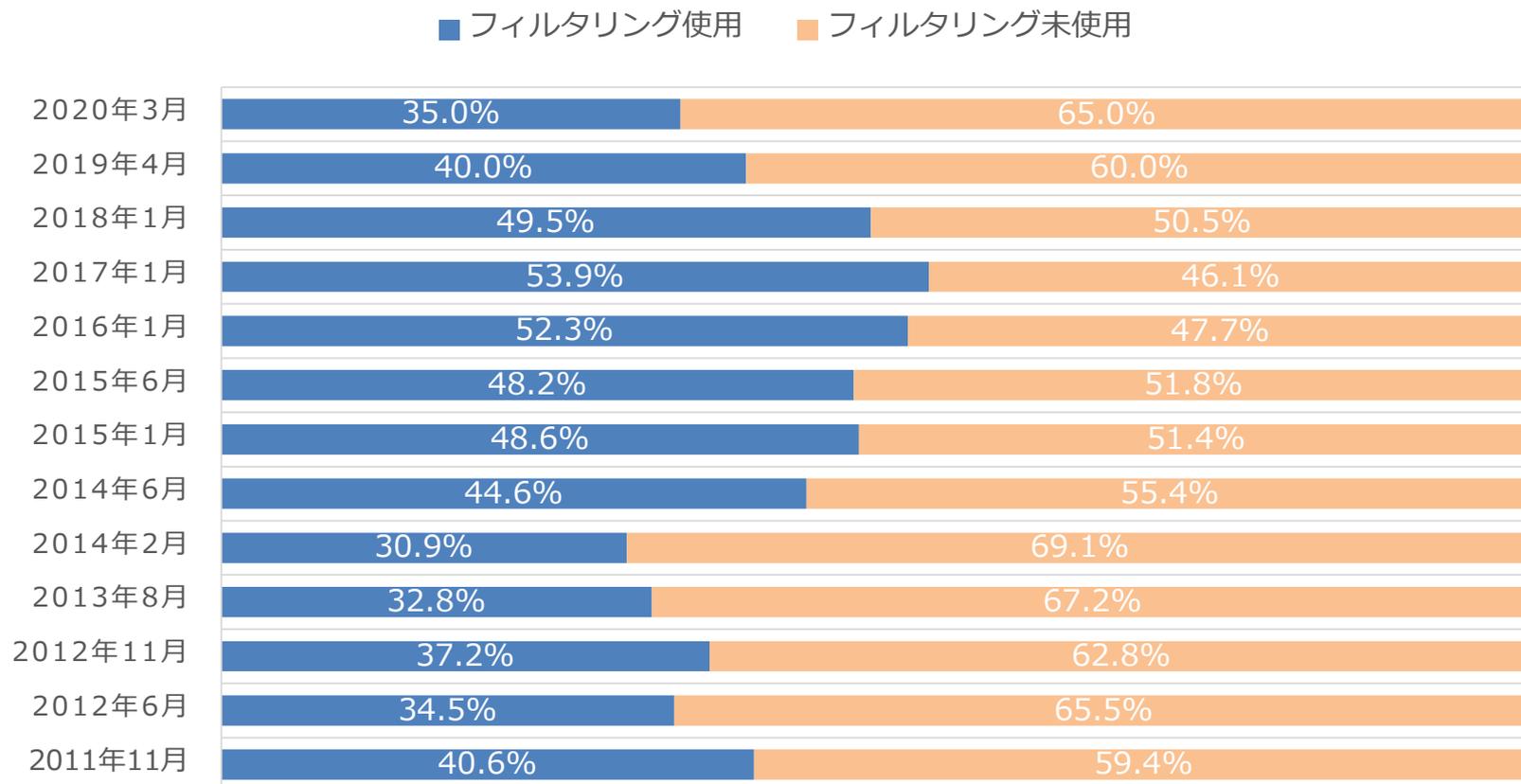
Q あなたが店頭でスマートフォン・携帯電話を購入した際、フィルタリングの設定について説明を受けましたか。  
※フィルタリングは、インターネット上の有害サイトへのアクセスを制限するサービスです

■ 説明を受けた    ■ 説明を受けなかった    ■ 覚えていない



## ■ フィルタリングの現在の利用率は35.0%で5.0%減少

Q あなたはスマートフォン等インターネットに接続可能な携帯端末にフィルタリングの設定をしていますか。  
 ※フィルタリングは、インターネット上の有害サイトへのアクセスを制限するサービスです



## ■ 全学齢で利用率は下降傾向、小学生は昨年から4.4%増加するも、一昨年からは減少している

Q あなたはスマートフォン等インターネットに接続可能な携帯端末にフィルタリングの設定をしていますか。  
 ※フィルタリングは、インターネット上の有害サイトへのアクセスを制限するサービスです

